

XML 形式
適用業務およびレコード・フォーマット

平成 29 年 8 月

全国銀行協会

目 次

はじめに	1
I XML ファイル	2
1. 適用業務とレコード・フォーマット一覧	2
2. レコード・フォーマット概要	2
3. レコード・フォーマットの構造(1伝送単位)	3
4. 複数レコードの設定	5
5. 文字コード	5
6. 使用可能文字	5
7. 使用する文字の置き換え	6
8. 統一金融機関番号等	6
9. 金融 EDI 情報の設定について	7
10. ファイルの連結方式	8
11. ISO20022 がバージョンアップした場合の対応	8
12. その他	8
II レコード・フォーマット	9
1. 企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット	9
(1) 【BAH】総合振込依頼制御情報、振込入金通知依頼制御情報、入出金取引明細依頼制御情報レコード・ フォーマット	11
(2) 【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット	13
2. 企業が本システムから受信するレコード・フォーマット	15
(1) 【BAH】総合振込結果制御情報、振込入金通知結果制御情報、入出金取引明細結果制御情報レコード・ フォーマット	16
(2) 【pain.002】総合振込結果明細レコード・フォーマット	17
(3) 【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット	20
(4) 【camt.052】入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット	22
参考 マッピング定義	28
1. 通信を制御する情報のマッピング定義	28
2. 業務に関する情報のマッピング定義	29
付録 振込依頼人名・受取人名などの記入	33

はじめに

一般社団法人全国銀行協会（以下「全銀協」という。）と一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（以下「全銀ネット」という。）は、平成 28 年 12 月 15 日に、決済インフラの抜本的機能強化への取組みとして、わが国における企業間送金に係る電文を、金融取引における国際標準である XML 電文¹に移行し、国内送金電文に商流情報の添付を可能とした金融 EDI²実現に向けた取組みを進めるため、「金融・IT ネットワークシステム」（以下「本システム」という。）をプラットフォームとして新たに構築することを決定した。

「XML 形式 適用業務およびレコード・フォーマット」は、企業と本システム間で授受する適用業務および各レコード・フォーマット（XML 形式）について詳述したものであり、ソフトウェア・パッケージ等の作成に当たっては、これに準拠するものとする。

なお、インターネットバンキングにおける、企業と金融機関（またはインターネットバンキングシステムを提供する外部機関）間で授受するレコード・フォーマット（XML 形式）は、「XML 形式適用業務およびレコード・フォーマット」をベースに当該金融機関等が定めるものとする。

改訂履歴

- ・平成 29 年 8 月 初版公表
- ・平成 30 年 6 月 誤記修正（正誤表参照）
- ・令和元年 12 月 一部改正（新旧対照表参照）

正誤表

修正箇所	(正)	(誤)
(2 頁) 1. 適用業務とレコード・フォーマット一覧 「入出金取引明細結果明細」の「準拠する ISO20022」	(camt. 052. 001. 02)	(camt. 052. <u>001</u> . 001. 02)
(9 頁) 表 1 本システムへ送信するレコード・フォーマット設定内容 項番 4 繰返、項番 10 繰返 (15 頁) 表 3 本システムから受信するレコード・フォーマットの設定内容 項番 4 繰返	[0..n] :XML タグがない、または <u>1</u> つ以上であることを示す。	[0..n] :XML タグがない、または <u>2</u> つ以上であることを示す。
(10 頁) 表 2-2 N 属性、 表 2-3 店舗名称属性、 表 2-4 名称属性、 表 2-5 EDI 属性、 表 2-6 C 属性	<u>0</u> 123456789	123456789

新旧対照表

改正箇所	(新)	(旧)
(10 頁) 表 2-3 店舗名称属性、 表 2-4 名称属性	(前略) ラルルロワ <u>ン</u>	(前略) ラルルロワ

以 上

¹ eXtensible Markup Language 電文の長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文方式

² Electronic Data Interchange 金融 EDI の活用により企業間の売掛金消込等の効率化が期待される

I. XML ファイル

企業と本システム間で授受するレコード・フォーマットは、金融通信メッセージの国際規格である ISO20022 で規定された XML ファイル形式（以下「XML 形式」という。）を使用する。

1. 適用業務とレコード・フォーマット一覧

適用業務	ファイル	レコード・フォーマット	準拠する ISO20022	略称
総合振込	総合振込依頼 (右記2つのレコード・フォーマットを連結)	総合振込依頼制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
		総合振込依頼明細	CustomerCreditTransferInitiationV03 (pain.001.001.03)	pain.001
	総合振込結果 (右記2つのレコード・フォーマットを連結)	総合振込結果制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
		総合振込結果明細	CustomerPaymentStatusReportV03 (pain.002.001.03)	pain.002
振込入金通知	振込入金通知依頼	振込入金通知依頼制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
	振込入金通知結果 (右記2つのレコード・フォーマットを連結)	振込入金通知結果制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
		振込入金通知結果明細	BankToCustomerDebitCreditNotificationV02 (camt.054.001.02)	camt.054
入出金取引明細	入出金取引明細依頼	入出金取引明細依頼制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
	入出金取引明細結果 (右記2つのレコード・フォーマットを連結)	入出金取引明細結果制御情報	BusinessApplicationHeaderV01 (head.001.001.01)	BAH
		入出金取引明細結果明細	BankToCustomerAccountReportV02 (camt.052.001.02)	camt.052

2. レコード・フォーマット概要

(1) 総合振込依頼ファイル

以下の2つのレコード・フォーマットを連結したファイルを使用する。

① BAH

企業から本システムへの「総合振込依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

② pain.001

企業から本システムへ「総合振込依頼」の振込情報を連携するためのレコード・フォーマット

(2) 総合振込結果ファイル

以下の2つのレコード・フォーマットを連結したファイルを使用する。

① BAH

本システムから企業への「総合振込結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

② pain.002

本システムから企業への「総合振込結果」を連携するためのレコード・フォーマット

(3) 振込入金通知依頼ファイル

以下のレコード・フォーマットを使用する。

- BAH

企業から本システムへの「振込入金通知依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

(4) 振込入金通知結果ファイル

以下の2つのレコード・フォーマットを連結したファイルを使用する。

① BAH

本システムから企業への「振込入金通知結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

② camt.054

本システムから企業へ、金融機関からの「振込入金通知結果」を連携するためのレコード・フォーマット

(5) 入出金取引明細依頼ファイル

以下のレコード・フォーマットを使用する。

・ BAH

企業から本システムへの「入出金取引明細依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

(6) 入出金取引明細結果ファイル

以下の2つのレコード・フォーマットを連結したファイルを使用する。

① BAH

本システムから企業への「入出金取引明細結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

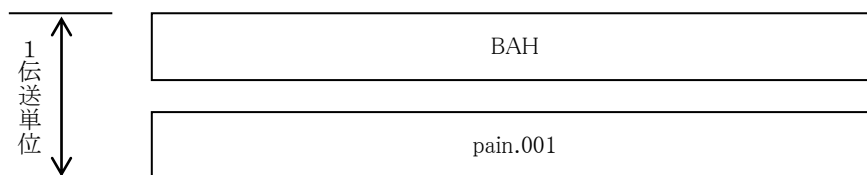
② camt.052

本システムから企業へ、金融機関からの「入出金取引明細結果」を連携するためのレコード・フォーマット

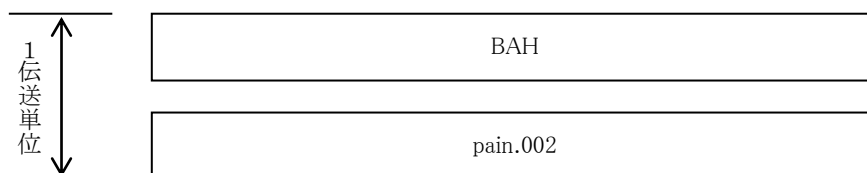
3. レコード・フォーマットの構造 (1 伝送単位)

(1) 総合振込

① 総合振込依頼ファイル



② 総合振込結果ファイル (正常・異常)

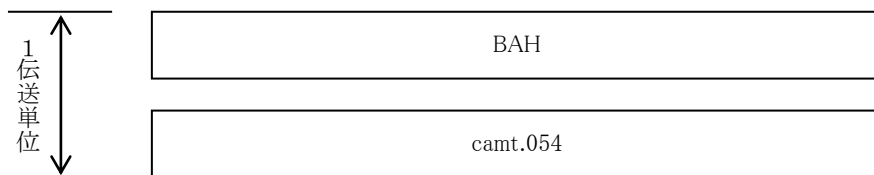


(2) 振込入金通知

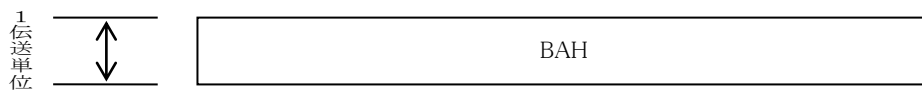
① 振込入金通知依頼ファイル



② 振込入金通知結果ファイル（正常）

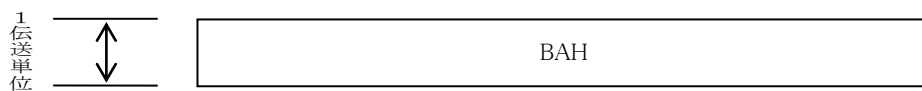


③ 振込入金通知結果ファイル（異常）

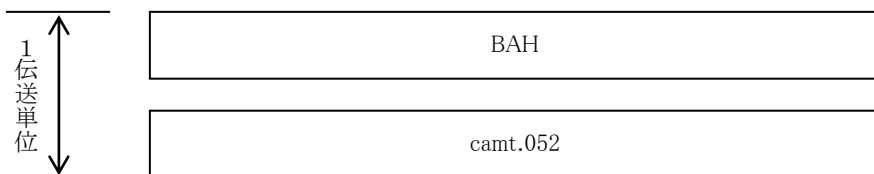


(3) 入出金取引明細

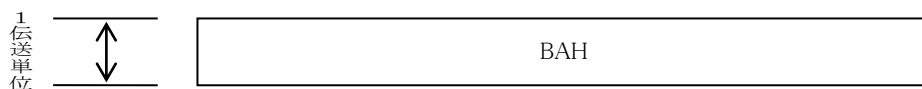
① 入出金取引明細依頼ファイル



② 入出金取引明細結果ファイル（正常）



③ 入出金取引明細結果ファイル（異常）



4. 複数レコードの設定

総合振込依頼、総合振込結果、振込入金通知結果、および入出金取引明細結果の各ファイルについて、1つのファイルには、複数のレコード（それぞれ、pain.001、pain.002、camt.054、および camt.052）の設定を可能とする。

(1) 1つのレコードを設定する場合のレコード・フォーマットの設定内容

```
(例) <?xml version="1.0">
  <Document>
    <CstmrCdtTrfInitn>
      <GrpHdr>
        <MsgId>~</MsgId >
        <CreDtTm>~</CreDtTm >
        <NbOfTxs>1</NbOfTxs> . . . . レコード数 (pain 電文<PmtInf>の繰り返し数 (1回))
        <InitgPty>~</InitgPty>
      </GrpHdr>
      <PmtInf>
        ~
      </PmtInf>
    </CstmrCdtTrfInitn>
  </Document>
```

(2) 2つのレコードを設定する場合のレコード・フォーマットの設定内容

```
(例) <?xml version="1.0">
  <Document>
    <CstmrCdtTrfInitn>
      <GrpHdr>
        <MsgId>~</MsgId >
        <CreDtTm>~</CreDtTm >
        <NbOfTxs>2</NbOfTxs> . . . . レコード数 (pain 電文<PmtInf>の繰り返し数(2回))
        <InitgPty>~</InitgPty>
      </GrpHdr>
      <PmtInf>
        ~
      </PmtInf>
      <PmtInf>
        ~
      </PmtInf>
    </CstmrCdtTrfInitn>
  </Document>
```

5. 文字コード

文字コードは、ISO20022 が指定する Unicode (UTF-8) とする。

6. 使用可能文字

ISO20022 が指定する Unicode (UTF-8) の範囲を使用可能文字とする。

7. 使用する文字の置き換え

予約文字（“&” など）については、実体参照による置き換えとする。予約文字一覧を図表 1 に示す。

項番	予約文字	意味	実体参照
1	&	アンパサンド	&
2	<	小なり	<
3	>	大なり	>
4	”	二重引用符	"
5	’	引用符	'

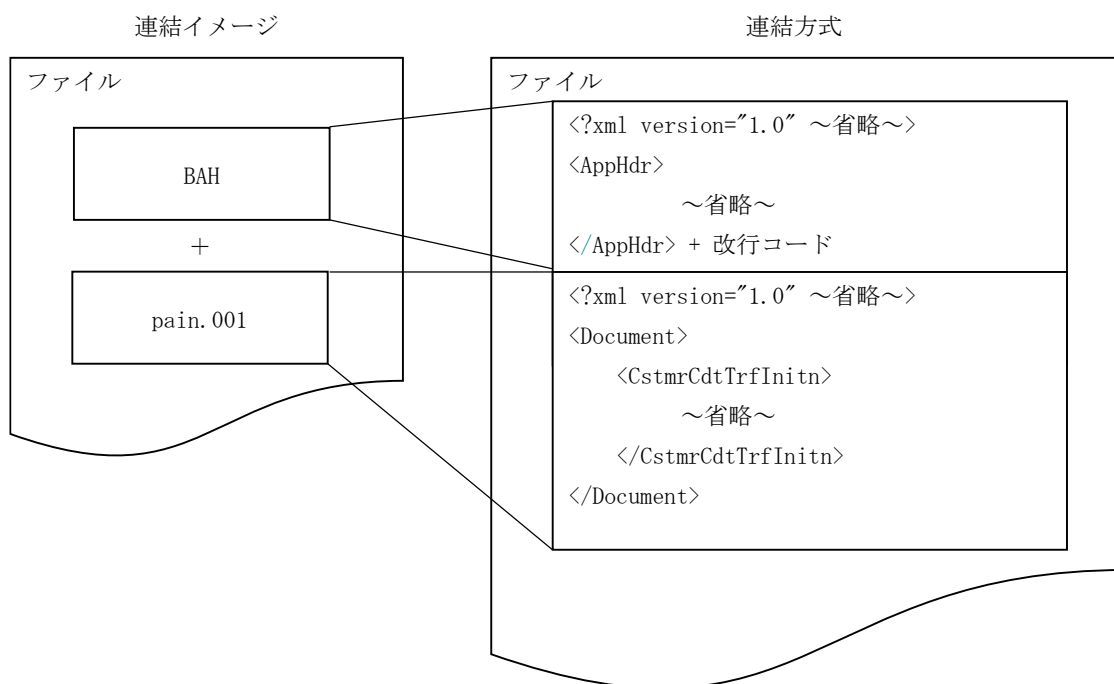
図表 1 予約文字一覧

8. 統一金融機関番号等

- (1) 統一金融機関番号は、金融機関共同コード管理委員会制定の統一コードとする。
- (2) 統一店番号は、各銀行が制定し、全銀協に登録した統一コードとする。
- (3) 銀行名・支店名は全国銀行店舗一覧（全銀協編）に記載の正称または略称とする。

10. ファイルの連結方式

BAH と他のレコード・フォーマット（pain.001、pain.002、camt.054、または camt.052）の連結は、XML 宣言タグ（注1）単位とし、BAH の後には、改行コード（CRLF）を挿入する。総合振込依頼ファイルの連結イメージを図表3に示す。



図表3 XML形式連結方式（注2）

（注1）XML 宣言タグ：<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>

（注2）上記はBAHとpain.001の連結の例。他のレコード・フォーマットとの連結の場合も同様。

11. ISO20022 がバージョンアップした場合の対応

ISO20022 が定める XML 形式がバージョンアップした場合の本レコード・フォーマット（XML 形式）の対応有無については、全銀ネットにおいて判断する。なお、バージョンアップの内容によっては、企業側のクライアントソフトの対応が必要になる場合がある。

12. その他

企業は、本システムを利用する際には、あらかじめクライアント証明書を取得しておく必要がある。

II. レコード・フォーマット

1. 企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット

企業から本システムへ送信するレコード・フォーマット（総合振込依頼制御情報レコード・フォーマット、総合振込依頼明細レコード・フォーマット、振込入金通知依頼制御情報レコード・フォーマット（XML形式）、入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット）の各項目は、表1に従って設定する。本定義に記載のないISO20022定義タグについてはインターフェースファイル内に存在していてもエラーとしない。

表1 本システムへ送信するレコード・フォーマット設定内容

項番	項目		説明
1	XMLタグ		英数字記号で記載する物理的なXMLのタグの名称を示す。
2	論理名		日本語で記載する論理的なXMLのタグの名称を示す。 各タグについての理解を補助するためのものである。
3	本システムにおける定義		各XMLタグの本システムにおける定義であり、ISO20022定義をベースとして、固定長ファイルへの変換を考慮した定義を示す。
4	繰返		本システムにおけるXMLタグの出現頻度を示す。以下に例を示す。 [0..1] :XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] :XMLタグがない、または1つ以上であることを示す。 [1..1] :XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] :XMLタグが1つ以上であることを示す。
5	項目属性		本システムにおける各XMLタグの項目属性(使用可能文字)を示す。項目属性については「表 2-1 項目属性ごとの使用可能文字」を参照のこと。 タグのみの場合は“±”である。 項目属性の指定がなく、ISO20022の使用可能文字範囲に準拠する場合は“-”である。
6	桁数	MIN	本システムにおけるXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
7		MAX	本システムにおけるXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
8	設定内容		本システムにおける各XMLタグへの設定内容を示す。 “全銀(ヘッダー)”、“全銀(データ)”、および“全銀(トレーラ)”は、全銀協定制定レコード・フォーマット(固定長)におけるヘッダー・レコード、データ・レコード、およびトレーラ・レコードを示す。 複数項目を連結して設定するXMLタグについては、各項目の型と桁数を欄内の“型/桁数”に記載する。 “型”は、【X:ヘキサ表記】、【C:キャラクタ】、【N:数字】で記載する。
9	ISO20022定義(参考情報)		参考情報として、ISO20022で規定されたフォーマットを示す。
10	繰返		ISO20022で規定されているXMLタグの出現頻度を示す。 [0..1] :XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] :XMLタグがない、または1つ以上であることを示す。 [1..1] :XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] :XMLタグが1つ以上であることを示す。
11	Represent/Type		ISO20022で規定されているRepresent/Typeを示す。 タグのみの場合は“±”である。
12	データ型		ISO20022で規定されているデータ型を示す。 タグのみの場合は“-”である。
13	桁数	MIN	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
14		MAX	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。

本システムへ送信するレコード・フォーマットにおける項目のうち、全銀協制定レコード・フォーマット（固定長）と対応するマッピング項目については、項目ごとに使用可能文字が異なるため、項目属性として定義する。項目属性ごとの使用可能文字を以下に示す。

表 2-1 項目属性ごとの使用可能文字

項番	全銀協制定レコード・フォーマット (固定長)の項目または属性	項目属性名	使用可能文字
1	N属性の項目	N属性	「表 2-2」参照
2	全ての業務の「店舗名」	店舗名称属性	「表 2-3」参照
3	振込入金通知の「口座名」、「振込依頼人名」 入出金取引明細の「口座名」、「振込依頼人名」 総合振込の「振込依頼人名」、「受取人名」	名称属性	「表 2-4」参照
4	顧客コード1、顧客コード2	EDI属性	「表 2-5」参照
5	上記以外のC属性の項目	C属性	「表 2-6」参照

表 2-2 N属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	0123456789

表 2-3 店舗名称属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	0123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカケコサシセソチツテトナニネノヒフホマミムモキヨリルロワヲ
4	濁点半濁点	''
5	記号	-
6	スペース	半角スペース

表 2-4 名称属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	0123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカケコサシセソチツテトナニネノヒフホマミムモキヨリルロワヲ
4	濁点半濁点	''
5	記号	()-
6	スペース	半角スペース

表 2-5 EDI属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	0123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカケコサシセソチツテトナニネノヒフホマミムモキヨリルロワヲ
4	濁点半濁点	''
5	記号	¥「」()-. /
6	スペース	半角スペース

表 2-6 C属性

項番	属性	文字一覧
1	数字	0123456789
2	英字	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
3	カナ文字	アイエオカケコサシセソチツテトナニネノヒフホマミムモキヨリルロワヲ
4	濁点半濁点	''
5	記号	¥「」()-. /, +?:'
6	スペース	半角スペース

(1) 【BAH】総合振込依頼制御情報、振込入金通知依頼制御情報、入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【BAH】総合振込依頼制御情報レコード・フォーマット 【BAH】振込入金通知依頼制御情報レコード・フォーマット 【BAH】入出金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット
---------------	---

- ① 説明
- ・企業から本システムへの「総合振込依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
 - ・企業から本システムへの「振込入金通知依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
 - ・企業から本システムへの「入出金取引明細依頼」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
- ② レコードの内容
- ・どの業務に対する【BAH】であるかは、<MsgDefId> (項番22) で設定する。
 - ・なお、振込入金通知および入出金取引明細の依頼においては、上記【BAH】のみを本システムへ送信する。

データ項目	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		本システムにおける定義 設定内容	ISO20022定義 (参考情報)						
					MIN	MAX		繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX			
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-
2	<AppHdr xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.01">	ビジネスアプリケーションヘッダールート	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
3	<Fr>	当方情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
4	<OrgId>	当方組織情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
5	<Id>	当方組織詳細情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
6	<OrgId>	当方組織詳細情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
7	<Othr>	当方識別子情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
8	<Id>	当方識別子	[1..1]	-	-	27	27	以下を設定する。 「当方センター確認コード」&「:」（半角コロン）&「パスワード」 ・例：00051192011071:af091rhj4507 「当方センター確認コード」は企業側のセンター確認コード。 ・型/桁数：N/14桁 ・形式：・センターコード (N/10桁) ・CPU/端末コード (N/4桁) ・MAX桁埋め：なし 「パスワード」は企業と金融機関との間で取り決めた、通信制御でセキュリティチェックに使用されるパスワード。 ・型/桁数：X/12桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
9	<SchmeNm>	通信制御概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
10	<Prtry>	通信制御情報	[1..1]	-	-	35	35	固定値 "CommunicationControl ValidationCode" を設定する。	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
11	<Othr>	ファイル制御詳細情報	[1..1]	±	-	-	-		[0..n]	±	-	-	-	
12	<Id>	ファイルアクセスキー	[1..1]	-	-	12	12	ファイルアクセスキーを設定する。 「ファイルアクセスキー」は該当ファイルの送受者が正当であるかどうかを確認するキー。内容は企業・金融機関間で内密に決定される。 ・型/桁数：X/12桁 ・MAX桁埋め：末尾半角スペース	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
13	<SchmeNm>	ファイル制御概要情報	[1..1]	±	-	-	-		[0..1]	±	-	-	-	
14	<Prtry>	ファイル制御情報	[1..1]	-	-	26	26	固定値 "FileControl ValidationCode" を設定する。	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
15	<To>	相手方情報	[1..1]	±	-	-	-		[1..1]	±	-	-	-	
16	<FIId>	相手方金融機関情報	[1..1]	±	-	-	-		[1..1]	±	-	-	-	
17	<FinInstnId>	相手方金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-		[1..1]	±	-	-	-	
18	<Othr>	相手方識別子情報	[1..1]	±	-	-	-		[0..1]	±	-	-	-	
19	<Id>	相手方識別子	[1..1]	-	-	19	19	以下を設定する。 「仕向銀行番号」&「:」（半角コロン）&「相手センター確認コード」 ・例：9901:89404702582307 「仕向銀行番号」は仕向金融機関の金融機関番号。 業態組織の場合は、国内送金指図 (XMLファイル) の作成範囲に該当する業態センタ等のコードを設定する。 ・型/桁数：N/4桁 ・MAX桁埋め：なし 「相手センター確認コード」は仕向金融機関のセンター確認コード。 ・型/桁数：N/14桁 ・形式：・センターコード (N/10桁) ・CPU/端末コード (N/4桁) ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
20	<Issr>	相手方接続情報	[1..1]	-	-	18	27	以下を設定する。 「接続先IPアドレス」&「:」（半角コロン）&「接続先電話番号」 ・例：10.168.94.1:0355559999 「接続先IPアドレス」は仕向金融機関の接続先IPアドレス。 ・型/桁数：C/7~15桁 ・形式："ZZ9.ZZ9.ZZ9.ZZ9" (ピリオド区切) ・例：10.168.94.1 ・MAX桁埋め：なし 「接続先電話番号」は仕向金融機関の接続先電話番号。 ・型/桁数：N/10~11桁 ・形式：ハイフンなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35	
21	<BizMsgIdr>	ファイル名補助情報 (オプション)	[1..1]	-	-	34	34	ファイル名補助情報 (オプション) を設定する。 「ファイル名補助情報 (オプション)」はファイル名とペアで使用され、「ファイル名」をより細分化する時に用いる。使用の有無は企業・銀行間で決定する。 ・型/桁数：X/34桁 ・形式：・アクセスID (X/4桁) ・補助情報欄 (X/30桁) ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	
22	<MsgDefIdr>	メッセージID	[1..1]	-	-	15	15	本レコード・フォーマットがどの業務に対するBAHであるかを表す値を設定する。 <総合振込依頼ファイルの場合> "pain.001.001.03" を設定する。 <振込入金通知依頼ファイルの場合> "camt.054.001.02" を設定する。 <入出金取引明細依頼ファイルの場合> "camt.052.001.02" を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	

データ項目		本システムにおける定義						ISO20022定義 (参考情報)				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数	
					MIN	MAX					MIN	MAX
23	<BizSvc>	制御情報	[1..1]	-	19	22	<p>以下を設定する。</p> <p>「モード」&「:」(半角コロン)&「ファイル名」&「:」(半角コロン)&「文字コード」&「:」(半角コロン)&「接続形態区分」&「:」(半角コロン)&「再送有無」</p> <p>・例: PUT:502001010120:0:1:1</p> <p>「モード」はファイル伝送の方向を表す区分。 「TST」を設定した場合、本システムは折り返しテストモードでの実行となる。</p> <p>・型/桁数: C/3桁 ・値候補: ・ “PUT” (連絡) ・ “GET” (照会) ・ “TST” (試験)</p> <p>「ファイル名」は伝送するファイル名。</p> <p>・型/桁数: C/12桁 ・形式: ・ 産業別コード (C/4桁) ・ データコード (C/4桁) ・ サイクル番号 (C/2桁) ・ ファイル名補助情報ID (C/1桁) ・ ダミー (C/1桁) ・ MAX桁埋め: なし</p> <p>「文字コード」はXMLファイルを金融機関への依頼ファイル (固定長) に変換する際の文字コードを表す区分。 金融機関から通知された場合のみ設定する。 それ以外の場合は設定不要。</p> <p>・型/桁数: N/1桁 ・値候補: ・ “0” (JISS) ・ “1” (EBCDIC) ・ MAX桁埋め: なし</p> <p>「接続形態区分」はTTC情報の1バイト目を表す。 金融機関から通知された場合のみ設定する。 それ以外の場合は設定不要。</p> <p>・型/桁数: N/1桁 ・値候補: ・ “0” (汎用コンピュータ) ・ “1” (パーソナルコンピュータ) ・ MAX桁埋め: なし</p> <p>「再送有無」は金融機関への再送依頼であるかを指定する区分。 振込入金通知および入金取引明細の場合に設定する。 再送依頼の場合は “1” を設定し、再送依頼でない場合は設定不要。</p> <p>・型/桁数: N/1桁 ・ MAX桁埋め: なし</p>	[0..1]	Max35Text	string	1	35
24	<CreDt>	通信年月日時分秒	[1..1]	-	20	24	<p>XMLファイルの作成日時を設定する。</p> <p>・形式: “YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ” または “YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZ”</p> <p>・例: 2017-03-06T09:05:01.045Z ・ MAX桁埋め: なし</p>	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime[“.*Z”]	20	24

(2) 【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット
---------------	--------------------------------

- ① 説明
 ・企業から本システムへ「総合振込依頼」の振込情報を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 ±はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		本システムにおける定義 設定内容	ISO20022定義 (参考情報)						
					MIN	MAX		繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	MIN	MAX		
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.001.001.03">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-		-	±	-	-	-	-	
3	<CstmrCdtTrfInitt>	総合振込依頼ルート	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	-	1	35	企業が採番するXMLメッセージ単位の識別番号を設定する。 ・形式：企業側で決定 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	-	19	23	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” または “YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sss” ・例：2017-03-06T09:05:01.045 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ISODatetime	DateTime	19	23	-	
7	<NbOfTx>	支払情報数	[1..1]	N属性	1	15	「支払情報」の繰り返し数を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	
8	<InitgPty>	開始集団	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
9	<PmtInf>	支払情報	[1..n]	±	-	-		[1..n]	±	-	-	-	-	
10	<PmtInfId>	支払情報ID	[1..1]	-	1	35	XMLメッセージの範囲内で、仕向明細を特定するために企業が採番するユニークな識別番号を設定する。 ・形式：企業側で決定 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
11	<PmtMtd>	支払方法	[1..1]	-	3	3	固定値“TRF”を設定する。	[1..1]	PaymentMethod3Code	string	3	3	-	
12	<NbOfTx>	合計件数	[1..1]	N属性	1	6	全銀（トレーラ）における「合計件数」を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	
13	<CtrlSum>	合計金額	[1..1]	N属性	1	12	全銀（トレーラ）における「合計金額」を設定する。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	
14	<PmtTpInf>	支払種別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
15	<CtgyPurp>	種別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
16	<Cd>	種別コード	[1..1]	-	4	4	固定値“OTHR”を設定する。	[1..1]	ExternalCategoryPurposeCode	string	1	4	-	
17	<ReqdExctnDt>	取組日	[1..1]	-	10	10	全銀（ヘッダー）における「取組日」を設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ISODate	Date	10	10	-	
18	<Dbtr>	振込依頼人情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
19	<Id>	振込依頼人識別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
20	<OrgId>	振込依頼人組織識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
21	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..n]	±	-	-	-	-	
22	<Id>	振込依頼人コード（取引企業コード）	[1..1]	N属性	10	10	全銀（ヘッダー）における「振込依頼人コード（取引企業コード）」を設定する。 ・MAX桁埋め：先頭“0”	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
23	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
24	<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	-	4	4	固定値“BANK”を設定する。	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	
25	<Othr>	振込依頼人法人番号（法人マイナ番号）情報	[0..1]	±	-	-	「振込依頼人法人番号（法人マイナ番号）」を未設定とする場合、項番25<Othr>から項番28<Cd>のタグを設定しない。	[0..n]	±	-	-	-	-	
26	<Id>	振込依頼人法人番号（法人マイナ番号）	[1..1]	N属性	13	13	振込依頼人企業の法人番号（法人マイナ番号）を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
27	<SchmeNm>	振込依頼人法人番号（法人マイナ番号）概要情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
28	<Cd>	振込依頼人法人番号（法人マイナ番号）概要コード	[1..1]	-	4	4	固定値“TXID”を設定する。	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	
29	<DbtrAcct>	振込依頼人口座情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
30	<Id>	振込依頼人口座識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
31	<Othr>	振込依頼人口座識別詳細情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
32	<Id>	振込依頼人口座番号	[1..1]	N属性 または ALLスペース	7	7	全銀（ヘッダー）における「口座番号（依頼人）」を設定する。 省略時はALLスペースとする。 ・MAX桁埋め：先頭“0”	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	
33	<Tp>	振込依頼人預金種目情報	[0..1]	±	-	-	「振込依頼人預金種目」を未設定とする場合、項番33<Tp>から項番34<Prtry>のタグを設定しない。	[0..1]	±	-	-	-	-	
34	<Prtry>	振込依頼人預金種目	[1..1]	N属性	1	1	全銀（ヘッダー）における「預金種目（依頼人）」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値：・“1”（普通） ・“2”（当座） ・“9”（その他） ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
35	<DbtrAgt>	仕向金融機関情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
36	<FinInstnId>	仕向金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
37	<ClrSysMmbId>	仕向決済システム識別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
38	<ClrSysId>	仕向決済システム識別詳細情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
39	<Cd>	仕向決済システム識別コード	[1..1]	-	5	5	固定値“JPZGN”を設定する。	[1..1]	ExternalClearingSystemIdentificationCode	string	1	5	-	
40	<MmbId>	仕向銀行番号	[1..1]	N属性	4	4	全銀（ヘッダー）における「仕向銀行番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
41	<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	C属性	1	15	全銀（ヘッダー）における「仕向銀行名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	
42	<BrnchId>	仕向支店情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
43	<Id>	仕向支店番号	[1..1]	N属性	3	3	全銀（ヘッダー）における「仕向支店番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	
44	<Nm>	仕向支店名	[0..1]	店舗名称属性	1	15	全銀（ヘッダー）における「仕向支店名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	
45	<UltDbtr>	振込依頼人情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
46	<Nm>	振込依頼人名	[1..1]	名称属性	1	40	全銀（ヘッダー）における「振込依頼人名」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	
47	<CdtTrfTxInf>	取引明細	[1..n]	±	-	-		[1..n]	±	-	-	-	-	
48	<PmtId>	支払識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
49	<EndToEndId>	取引明細識別番号（振込依頼人発行）	[1..1]	-	1	35	「取引明細」タグ単位で受取人企業への連携するために振込依頼人企業が採番するユニークな識別番号を設定する。 ・形式：企業側で決定 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	
50	<Amt>	振込金額情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
51	<InstAmt Ccy="JPY">	振込金額	[1..1]	N属性	1	10	全銀（データ）における「振込金額」を設定する。 「取引明細」タグ単位の振込金額を表す。 ・形式：カンマなし ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	
52	<DbtrAgt>	被仕向金融機関情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
53	<FinInstnId>	被仕向金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-		[1..1]	±	-	-	-	-	
54	<ClrSysMmbId>	被仕向決済システム識別情報	[1..1]	±	-	-		[0..1]	±	-	-	-	-	
55	<MmbId>	被仕向銀行番号	[1..1]	N属性	4	4	全銀（データ）における「被仕向銀行番号」を設定する。 ・MAX桁埋め：なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	

データ項目		本システムにおける定義						ISO20022定義 (参考情報)				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	項目属性 土はタグのみ -はISO20022準拠	桁数		設定内容	繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数	
					MIN	MAX					MIN	MAX
56	<Nm>	被仕向銀行名	[0..1]	C属性	1	15	全銀(データ)における「被仕向銀行名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140
57	<Othr>	手形交換所番号情報	[0..1]	土	-	-	「手形交換所番号」を未設定とする場合、項番57<Othr>から項番58<Id>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-
58	<Id>	手形交換所番号	[1..1]	N属性	4	4	全銀(データ)における「手形交換所番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
59	<BrnchId>	被仕向支店情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
60	<Id>	被仕向支店番号	[1..1]	N属性	3	3	全銀(データ)における「被仕向支店番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[0..1]	Max35Text	string	1	35
61	<Nm>	被仕向支店名	[0..1]	店舗名称属性	1	15	全銀(データ)における「被仕向支店名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140
62	<Cdr>	受取人情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
63	<Nm>	受取人名	[1..1]	名称属性	1	30	全銀(データ)における「受取人名」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140
64	<Id>	受取人識別情報	[0..1]	土	-	-	「受取人法人番号(法人マイナナンバー)情報」、「顧客コード1情報」、および「顧客コード2情報」を未設定とする場合、項番64<Id>から項番77<Prtry>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-
65	<OrgId>	受取人組織情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-
66	<Othr>	受取人法人番号(法人マイナナンバー)情報	[0..1]	土	-	-	「受取人法人番号(法人マイナナンバー)」を未設定とする場合、項番66<Othr>から項番69<Cd>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-
67	<Id>	受取人法人番号(法人マイナナンバー)	[1..1]	N属性	13	13	受取人企業の法人番号(法人マイナナンバー)を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
68	<SchmeNm>	受取人法人番号(法人マイナナンバー)概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
69	<Cd>	受取人法人番号(法人マイナナンバー)概要コード	[1..1]	-	4	4	固定値“TXID”を設定する。 「受取人法人番号(法人マイナナンバー)情報」タグ以下が受取人法人番号(法人マイナナンバー)情報であることを識別するための値。	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4
70	<Othr>	顧客コード1情報	[0..1]	土	-	-	「顧客コード1」を未設定とする場合、項番70<Othr>から項番73<Prtry>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-
71	<Id>	顧客コード1	[1..1]	EDI属性	1	10	全銀(データ)における「顧客コード1」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
72	<SchmeNm>	顧客コード1概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
73	<Prtry>	顧客コード1概要名	[1..1]	-	14	14	固定値“Customer Code1”を設定する。 「顧客コード1情報」タグ以下が顧客コード1情報であることを識別するための値。	[1..1]	Max35Text	string	1	35
74	<Othr>	顧客コード2情報	[0..1]	土	-	-	「顧客コード2」を未設定とする場合、項番74<Othr>から項番77<Prtry>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-
75	<Id>	顧客コード2	[1..1]	EDI属性	1	10	全銀(データ)における「顧客コード2」を設定する。 ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
76	<SchmeNm>	顧客コード2概要情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
77	<Prtry>	顧客コード2概要名	[1..1]	-	14	14	固定値“Customer Code2”を設定する。 「顧客コード2情報」タグ以下が顧客コード2情報であることを識別するための値。	[1..1]	Max35Text	string	1	35
78	<CdrAcct>	受取人口座情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
79	<Id>	受取人口座識別情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-
80	<Othr>	受取人口座識別詳細情報	[1..1]	土	-	-		[1..1]	土	-	-	-
81	<Id>	受取人口座番号	[1..1]	N属性	7	7	全銀(データ)における「口座番号」を設定する。 ・MAX桁埋め: 先頭“0”	[1..1]	Max34Text	string	1	34
82	<Tp>	受取人預金種目情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
83	<Prtry>	受取人預金種目	[1..1]	N属性	1	1	全銀(データ)における「預金種目」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値: ・“1”(普通) ・“2”(当座) ・“4”(貯蓄) ・“9”(その他) ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
84	<InstrForCdrAgt>	振込指定区分情報	[0..1]	土	-	-	「振込指定区分」を未設定とする場合、項番84<InstrForCdrAgt>から項番85<InstrInf>のタグを設定しない。	[0..n]	土	-	-	-
85	<InstrInf>	振込指定区分	[0..1]	N属性	1	1	全銀(データ)における「振込指定区分」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値: ・“7”(テレ振込) ・“8”(文書振込) ・MAX桁埋め: なし	[0..1]	Max140Text	string	1	140
86	<InstrForDbtrAgt>	識別表示および仕向金融機関指示情報	[0..1]	C属性	27	27	以下を設定する。 「識別表示」&「:」(半角コロン)&「ダミー(データ)」&「:」(半角コロン)&「ダミー(ヘッダー)」 ・例: Y:dummy01:dummy0123456789du 「識別表示」は全銀(データ)における「識別表示」を設定する。 ・型/桁数: C/1桁 ・候補値: ・“Y” ・“Y”以外の値(半角スペース可) ・MAX桁埋め: なし 「ダミー(データ)」は全銀(データ)における「ダミー」を設定する。 ・型/桁数: C/7桁 ・MAX桁埋め: 末尾半角スペース 「ダミー(ヘッダー)」は全銀(ヘッダー)における「ダミー」を設定する。 1明細目で設定された値のみが本システムで認識される。 ・型/桁数: C/17桁 ・MAX桁埋め: 末尾半角スペース	[0..1]	Max140Text	string	1	140
87	<Purp>	新規コード情報	[1..1]	土	-	-		[0..1]	土	-	-	-
88	<Prtry>	新規コード	[1..1]	N属性	1	1	全銀(データ)における「新規コード」を設定する。 下記の候補値以外も、数字1桁ならば全て指定可。 ・候補値: ・“0”(その他) ・“1”(第1回振込分) ・“2”(変更分(被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号)) ・MAX桁埋め: なし	[1..1]	Max35Text	string	1	35
89	<RmtInf>	商流情報	[0..1]	土	-	-	「金融EDI情報」を未設定とする場合、項番89<RmtInf>から項番90<Ustrd>のタグを設定しない。	[0..1]	土	-	-	-
90	<Ustrd>	金融EDI情報	[0..n]	-	1	140	取引明細に関連した金融EDI情報を設定する。 ・形式: base64エンコード有りの場合、MIMEヘッダーの付加が必須。 ・MAX桁埋め: なし	[0..n]	Max140Text	string	1	140

2. 企業が本システムから受信するレコード・フォーマット

企業が本システムから受信するレコード・フォーマット（総合振込結果制御情報レコード・フォーマット、総合振込結果明細レコード・フォーマット、振込入金通知結果制御情報レコード・フォーマット、振込入金通知結果明細レコード・フォーマット、入出金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット、入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット）の各項目は表3に従って設定する。ISO20022で規定する必須タグおよび本システムで定義するタグについてのみ記載する。

表3 本システムから受信するレコード・フォーマットの設定内容

項番	項目	説明
1	XMLタグ	英数字記号で記載する物理的なXMLのタグの名称を示す。
2	論理名	日本語で記載する論理的なXMLのタグの名称を示す。 各タグについての理解を補助するためのものである。
3	ISO20022定義(参考情報)	参考情報として、ISO20022で規定されたフォーマットを示す。
4	繰返	XMLタグの出現頻度を示す。以下に例を示す。 [0..1] :XMLタグがない、または1つであることを示す。 [0..n] :XMLタグがない、または1つ以上であることを示す。 [1..1] :XMLタグが必ず1つであることを示す。 [1..n] :XMLタグが1つ以上であることを示す。
5	Represent/Type	ISO20022で規定されているRepresent/Typeを示す。 タグのみの場合は“±”である。
6	データ型	ISO20022で規定されているデータ型を示す。 タグのみの場合は“-”である。
7	桁数	ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最小桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
8		ISO20022で規定されているXMLタグ内に設定する値の最大桁数を示す。 タグのみの場合は“-”である。
9	本システムにおける定義	各XMLタグの本システムにおける定義であり、ISO20022定義をベースとして、固定長ファイルへの変換を考慮した定義を示す。
10	繰返	ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
11	項目属性	ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
12	桁数	ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
13		ISO20022の規定に準拠するため使用しない。
14	設定内容	<p>本システムにおける各XMLタグへの設定内容を示す。 “全銀(ヘッダー)”、“全銀(データ)”、および“全銀(トレーラ)”は、全銀協定制定レコード・フォーマット(固定長)におけるヘッダーレコード、データレコード、およびトレーラレコードを示す。 設定元の固定長ファイルの項目が省略されている場合、かつXMLタグが省略可能の場合はタグを設定しない。 設定元の固定長ファイルの項目が省略されている場合、かつXMLタグが省略不可の場合は“データ型”に応じた初期値(半角スペース1桁、または“0”)を設定する。</p> <p>複数項目を連結して設定するXMLタグについては、各項目の型と桁数を欄内の“型/桁数”に記載する。 “型”は、【X:ヘキサ表記】、【C:キャラクタ】、【N:数字】で記載する。</p> <p>「[camt.052] 入出金取引明細結果明細レコード・フォーマット」においては、口座の種類によりXMLタグへの設定内容が異なる。 口座の種類は全銀(ヘッダー)の預金種目により判定するが、設定内容欄の条件の記載は下記のとおり簡略化して記載する。 <全銀(ヘッダー)の預金種目が“1”(普通預金)、または“2”(当座預金)、または“4”(貯蓄預金)の場合> 設定内容欄の条件は<普通口座の場合>と記載する。 <全銀(ヘッダー)の預金種目が“5”(通知預金)、“6”(定期預金)、“7”(積立定期預金)の場合> 設定内容欄の条件は<定期性口座の場合>と記載する。</p>

(1) 【BAH】総合振込結果制御情報、振込入金通知結果制御情報、入金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【BAH】総合振込結果制御情報レコード・フォーマット 【BAH】振込入金通知結果制御情報レコード・フォーマット 【BAH】入金取引明細結果制御情報レコード・フォーマット
---------------	--

- ① 説明
- ・本システムから企業への「総合振込結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
 - ・本システムから企業への「振込入金通知結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット
 - ・本システムから企業への「入金取引明細結果」連携において、通信制御情報とファイル制御情報を連携するためのレコード・フォーマット

- ② レコードの内容
- ・どの業務に対する【BAH】であるかは、<MsgDefIdr> (項番9) で設定する。

データ項目 項番	XMLタグ	論理名	ISO20022定義				本システムにおける定義				
			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容	
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<AppHdr xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:head.001.001.01">	ビジネスアプリケーションヘッダルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
3	<Fr>	当方情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
4	<FIId>	当方金融機関情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
5	<FinInstnId>	当方金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
6	<To>	相手方情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
7	<OrgId>	相手方組織情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
8	<BizMsgIdr>	ビジネスメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号
9	<MsgDefIdr>	メッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	本レコード・フォーマットがどの業務に対するBAHであるかを表す値を設定する。 <総合振込結果ファイルの場合> "pain.002.001.03"を設定する。 <振込入金通知結果ファイルの場合> "camt.054.001.02"を設定する。 <入金取引明細結果ファイルの場合> "camt.052.001.02"を設定する。
10	<BizSvc>	処理結果コード	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	依頼に対する処理結果コードを設定する。
11	<CreDt>	通信年月日時分秒	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime["%Z"]	20 24	-	-	-	-	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ssZ" または "YYYY-MM-DDThh:mm:ss.sssZ" ・例: 2017-03-06T09:05:01.045Z
12	<Rltd>	依頼情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	本タグ以下は、「【BAH】総合振込依頼制御情報レコード・フォーマット(XML形式)」、「【BAH】振込入金通知依頼制御情報レコード・フォーマット(XML形式)」、または「【BAH】入金取引明細依頼制御情報レコード・フォーマット(XML形式)」で連携された各項目を設定元とする。 依頼ファイルのBAHについて、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、項番12<Rltd>から項番28<CreDt>のタグを設定しない。
13	<Fr>	当方情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
14	<OrgId>	当方組織情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
15	<Id>	当方組織詳細情報 (依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
16	<OrgId>	当方識別子情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
17	<Othr>	当方識別子詳細情報 (依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
18	<Id>	当方識別子 (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「当方識別子」内の「当方センター確認コード」を設定する。
19	<To>	相手方情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
20	<FIId>	相手方金融機関情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
21	<FinInstnId>	相手方金融機関詳細情報 (依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
22	<Othr>	相手方識別子情報 (依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
23	<Id>	相手方識別子 (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「相手方識別子」を設定する。
24	<Issr>	相手方接続情報	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「相手方接続情報」を設定する。
25	<BizMsgIdr>	ファイル名補助情報 (オプション) (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「ファイル名補助情報 (オプション)」を設定する。
26	<MsgDefIdr>	メッセージID (依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「メッセージID」を設定する。
27	<BizSvc>	制御情報 (依頼)	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「制御情報」を設定する。
28	<CreDt>	通信年月日時分秒 (依頼)	[1..1]	ISONormalisedDate Time	dateTime["%Z"]	20 24	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのBAHから「通信年月日時分秒」を設定する。

(2) 【pain.002】 総合振込結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【pain.002】 総合振込結果明細レコード・フォーマット
---------------	--------------------------------

① 説明
 ・本システムから企業への「総合振込結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目 項番	XMLタグ	論理名	ISO20022定義				本システムにおける定義				
			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容	
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:pain.002.001.03">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
3	<CstmPmtStsRpt>	総合振込結果ルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD...日付 ・hhmmss...時刻 ・nnnnnnn...番号
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODatetime	dateTime	19 23	-	-	-	-	XMLファイルの作成日時を設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:09:05
7	<OrgnlGrpInfAndSts>	グループ情報 (総合振込依頼) および結果情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
8	<OrgnlMsgId>	グループメッセージID (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「グループメッセージID」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、半角スペース1桁を設定する。
9	<OrgnlMsgNmId>	グループメッセージ名称ID (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	固定値 "pain.001" を設定する。
10	<OrgnlCreDtTm>	XMLファイル作成日時 (総合振込依頼)	[0..1]	ISODatetime	dateTime	19 23	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「XMLファイル作成日時」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、本タグは設定しない。
11	<OrgnlNbOfTx>	支払情報数 (総合振込依頼)	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「取引数 (グループ単位)」を設定する。 依頼ファイルのpain.001について、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックが正常に完了する前にエラーが発生した場合、本タグは設定しない。
12	<StsRsnInf>	全体処理結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
13	<Rsn>	全体処理結果原因	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
14	<Prtry>	全体処理結果	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	総合振込依頼に対する処理結果コードを設定する。
15	<OrgnlPmtInfAndSts>	支払情報 (総合振込依頼) および結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001の「支払情報」の繰り返し回数分、本タグを繰り返す。 なお、依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグの繰り返し回数は1とし、チェック結果およびエラー内容のみを設定する。 また、ISO20022に準拠したXML形式であることのチェックを実施する前にエラーが発生した場合、項番15<OrgnlPmtInfAndSts>から項番100<Prtry>のタグを設定しない。
16	<OrgnlPmtInfId>	支払情報ID (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「支払情報ID」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、半角スペース1桁を設定する。
17	<OrgnlNbOfTx>	合計件数 (総合振込依頼)	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「合計件数」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
18	<OrgnlCtrlSum>	合計金額 (総合振込依頼)	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1 18	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「合計金額」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
19	<TxInfAndSts>	取引明細 (総合振込依頼) および結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001の「取引明細」の繰り返し回数分、本タグを繰り返す。 なお、依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグの繰り返し回数は1とし、チェック結果およびエラー内容のみを設定する。
20	<OrgnlInstrId>	E D I キー情報	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	本システムより払い出したE D I キー情報を設定する。 払い出されていない場合はタグ省略。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
21	<OrgnlEndToEndId>	取引明細識別番号 (振込依頼人発行) (総合振込依頼)	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「取引明細識別番号 (振込依頼人発行)」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、本タグは設定しない。
22	<StsRsnInf>	取引明細別処理結果情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
23	<Rsn>	取引明細別処理結果原因	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
24	<Prtry>	取引明細別処理結果	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	pain.001のチェック結果を表す。 < 正常の場合 > "0" を設定する。 < エラーの場合 > "1" を設定する。
25	<AddtlInf>	識別表示および仕向金融機関指示情報 (総合振込依頼)	[0..n]	Max105Text	string	1 105	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「識別表示および仕向金融機関指示情報」を設定する。 依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、エラー内容を発生したエラー数分繰り返し設定する。
26	<OrgnlTxRef>	取引明細情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	企業が送信した依頼ファイルのpain.001がチェックエラーの場合、項番26<OrgnlTxRef>から項番100<Prtry>のタグを設定しない。
27	<Amt>	振込金額情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
28	<InstAmt Ccy="JPY">	振込金額 (総合振込依頼)	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1 18	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込金額」を設定する。
29	<ReqdExctnDt>	取組日 (総合振込依頼)	[0..1]	ISODate	date	10 10	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「取組日」を設定する。
30	<PmtTpInf>	支払種別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
31	<SvcLvl>	新規コード情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
32	<Prtry>	新規コード (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「新規コード」を設定する。
33	<LclInstrm>	振込指定区分情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込指定区分」が設定されていない場合、項番33<LclInstrm>から項番34<Prtry>のタグを設定しない。
34	<Prtry>	振込指定区分 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込指定区分」を設定する。
35	<CtgyPurp>	種別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
36	<Cd>	種別コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalCategoryPurposeCode	string	1 4	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「種別コード」を設定する。
37	<PmtMtd>	支払方法 (総合振込依頼)	[0..1]	PaymentMethod4Code	string	2 3	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「支払方法」を設定する。
38	<RmtInf>	商流情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「金融E D I 情報」が設定されていない場合、項番38<RmtInf>から項番39<Ustrd>のタグを設定しない。

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義						本システムにおける定義					
			繰返	Represent/Type 土はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 土はタグのみ	桁数		設定内容		
						MIN	MAX			MIN	MAX			
39	<Ustrd>	金融E D I 情報 (総合振込依頼)	[0..n]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「金融E D I 情報」を設定する。
40	<UltmtDptr>	振込依頼人情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	<Nm>	振込依頼人名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人名」を設定する。
42	<Dptr>	振込依頼人情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	<Id>	振込依頼人識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	<OrgId>	振込依頼人組織識別 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	<Id>	振込依頼人コード (取引企業コード) (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人コード (取引企業コード)」を設定する。
47	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	<Cd>	振込依頼人概要コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人概要コード」を設定する。
49	<Othr>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 情報」が設定されていない場合、項番49<Othr>から項番52<Cd>のタグを設定しない。
50	<Id>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー)」を設定する。
51	<SchmeNm>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 概要情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	<Cd>	振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード」を設定する。
53	<DptrAcct>	振込依頼人口座情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	<Id>	振込依頼人口座識別情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	<Othr>	振込依頼人口座識別詳細情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
56	<Id>	振込依頼人口座番号 (総合振込依頼)	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人口座番号」を設定する。
57	<Tp>	振込依頼人預金種目情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人預金種目情報」が設定されていない場合、項番57<Tp>から項番58<Prtry>のタグを設定しない。
58	<Prtry>	振込依頼人預金種目 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人預金種目」を設定する。
59	<DptrAgt>	仕向金融機関情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60	<FinInstnId>	仕向金融機関識別情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61	<ClrSysMmbId>	仕向決済システム識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
62	<ClrSysId>	仕向決済システム識別詳細情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
63	<Cd>	仕向決済システム識別コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalClearingSystemIdentificationCode	string	1	5	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「仕向決済システム識別コード」を設定する。
64	<MmbId>	仕向銀行番号 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「仕向銀行番号」を設定する。
65	<Nm>	仕向銀行名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「仕向銀行名」を設定する。
66	<BrnchId>	仕向支店情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
67	<Id>	仕向支店番号 (総合振込依頼)	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「仕向支店番号」を設定する。
68	<Nm>	仕向支店名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「仕向支店名」を設定する。
69	<CdtrAgt>	被仕向金融機関情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70	<FinInstnId>	被仕向金融機関識別情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
71	<ClrSysMmbId>	被仕向決済システム識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
72	<MmbId>	被仕向銀行番号 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「被仕向銀行番号」を設定する。
73	<Nm>	被仕向銀行名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「被仕向銀行名」を設定する。
74	<Othr>	手形交換所番号情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「手形交換所番号情報」が設定されていない場合、項番74<Othr>から項番75<Id>のタグを設定しない。
75	<Id>	手形交換所番号 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「手形交換所番号」を設定する。
76	<BrnchId>	被仕向支店情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
77	<Id>	被仕向支店番号 (総合振込依頼)	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「被仕向支店番号」を設定する。
78	<Nm>	被仕向支店名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「被仕向支店名」を設定する。
79	<Cdtr>	受取人情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
80	<Nm>	受取人名 (総合振込依頼)	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人名」を設定する。
81	<Id>	受取人識別情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人識別情報」が設定されていない場合、項番81<Id>から項番94<Prtry>のタグを設定しない。
82	<OrgId>	受取人組織情報 (総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
83	<Othr>	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人法人番号 (法人マイナンバー) 情報」が設定されていない場合、項番83<Othr>から項番86<Cd>のタグを設定しない。
84	<Id>	受取人法人番号 (法人マイナンバー) (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人法人番号 (法人マイナンバー)」を設定する。
85	<SchmeNm>	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 概要情報 (総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
86	<Cd>	受取人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード (総合振込依頼)	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人法人番号 (法人マイナンバー) 概要コード」を設定する。
87	<Othr>	顧客コード1情報 (総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード1情報」が設定されていない場合、項番87<Othr>から項番90<Prtry>のタグを設定しない。
88	<Id>	顧客コード1 (総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード1」を設定する。

データ項目		ISO20022定義							本システムにおける定義				
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容	
						MIN	MAX			MIN	MAX		
89	<SchemeNm>	顧客コード1概要情報(総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
90	<Prtry>	顧客コード1概要名(総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード1スキーマ名」を設定する。	
91	<Othr>	顧客コード2情報(総合振込依頼)	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード2情報」が設定されていない場合、項番91<Othr>から項番94<Prtry>のタグを設定しない。	
92	<Id>	顧客コード2(総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード2」を設定する。	
93	<SchemeNm>	顧客コード2概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
94	<Prtry>	顧客コード2概要名	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「顧客コード2スキーマ名」を設定する。	
95	<CdrAcct>	受取人口座情報(総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
96	<Id>	受取人口座識別情報(総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
97	<Othr>	受取人口座識別詳細情報(総合振込依頼)	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
98	<Id>	受取人口座番号(総合振込依頼)	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人口座番号」を設定する。	
99	<Tp>	受取人預金種目情報(総合振込依頼)	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	
100	<Prtry>	受取人預金種目(総合振込依頼)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人預金種目」を設定する。	

(3) 【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット
---------------	---------------------------------

① 説明
 ・本システムから企業へ、金融機関からの「振込入金通知結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義				本システムにおける定義				
			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容	
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:camt.054.001.02">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
3	<BkToCstmrDbtCdtNfctn>	振込入金通知ルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「作成日」を設定する。 全銀(ヘッダー)は"YYMMDD"(和暦)形式のため、「YYYY-MM-DD」形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
7	<Nfctn>	通知情報	[1..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
8	<Id>	通知ID	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	企業へ送信する結果ファイルの範囲内でユニークとなる、「通知情報」単位の識別番号。 ・形式: 数字連番
9	<CreDtTm>	通知情報作成日時	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「作成日」を設定する。 全銀(ヘッダー)は"YYMMDD"(和暦)形式のため、「YYYY-MM-DD」形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
10	<FrToDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
11	<FrDtTm>	勘定日(自)	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(自)」を設定する。 全銀(ヘッダー)は"YYMMDD"(和暦)形式のため、「YYYY-MM-DD」形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
12	<ToDtTm>	勘定日(至)	[1..1]	ISODateTime	dateTime	19 23	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(至)」を設定する。 全銀(ヘッダー)は"YYMMDD"(和暦)形式のため、「YYYY-MM-DD」形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
13	<Acct>	口座情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
14	<Id>	口座識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
15	<Othr>	口座識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
16	<Id>	口座番号	[1..1]	Max34Text	string	1 34	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「口座番号」を設定する。
17	<Tp>	預金種目情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
18	<Prtry>	預金種目	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「預金種目」を設定する。
19	<Nm>	口座名	[0..1]	Max70Text	string	1 70	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「口座名」を設定する。
20	<Ownc>	受取人法人番号(法人マイナンバー)情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」と「受取人法人番号(法人マイナンバー)」のいずれかが設定されていない場合、項番20<Ownc>から項番26<Cd>のタグを設定しない。
21	<Id>	受取人法人番号(法人マイナンバー)識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
22	<OrgId>	受取人法人番号(法人マイナンバー)識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
23	<Othr>	受取人法人番号(法人マイナンバー)詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
24	<Id>	受取人法人番号(法人マイナンバー)	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」および「受取人法人番号(法人マイナンバー)」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人法人番号(法人マイナンバー)」を設定する。
25	<SchmeNm>	受取人法人番号(法人マイナンバー)概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
26	<Cd>	受取人法人番号(法人マイナンバー)概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1 4	-	-	-	-	固定値"TXID"を設定する。
27	<Svcr>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
28	<FinInstnId>	金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
29	<ClrSysMmbId>	決済システム識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
30	<MmbId>	銀行コード	[1..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「銀行コード」を設定する。
31	<Nm>	銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「銀行名」を設定する。
32	<BrnchId>	支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
33	<Id>	支店コード	[0..1]	Max35Text	string	1 35	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「支店コード」を設定する。
34	<Nm>	支店名	[0..1]	Max140Text	string	1 140	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「支店名」を設定する。
35	<TxSummry>	総取引情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
36	<TtlCdtNtries>	振込合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
37	<NbOfNtries>	振込合計件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「振込合計件数」を設定する。
38	<Sum>	振込合計金額	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1 18	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「振込合計金額」を設定する。
39	<TtlDbtNtries>	取消合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
40	<NbOfNtries>	取消合計件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1 15	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「取消合計件数」を設定する。
41	<Sum>	取消合計金額	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1 18	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「取消合計金額」を設定する。
42	<Ntry>	取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	全銀(データ)が0件の場合、項番42<Ntry>から項番104<AddtlNtryInf>のタグを設定しない。
43	<Amt Ccy="JPY">	金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1 18	-	-	-	-	全銀(データ)における「金額」を設定する。
44	<CdtDbtInd>	取消区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4 4	-	-	-	-	全銀(データ)における「取消区分」を判定し設定する。 <振込明細の場合(「取消区分」が初期値)> "CRDT"を設定する。 <取消明細の場合(「取消区分」が初期値以外)> "DBIT"を設定する。
45	<RvslInd>	取消通知区分	[0..1]	TrueFalseIndicator	boolean	4 5	-	-	-	-	明細が取消明細かどうかを判定し設定する。 <「取消区分」が取消明細の場合> "true"を設定する。 <「取消区分」が振込明細の場合> 本タグは設定しない。
46	<Sts>	取引ステータス	[1..1]	EntryStatus2Code	string	4 4	-	-	-	-	固定値"BOOK"を設定する。
47	<BookgDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
48	<Dt>	勘定日	[1..1]	ISODate	date	10 10	-	-	-	-	全銀(データ)における「勘定日」を設定する。 全銀(データ)は"YYMMDD"(和暦)形式のため、「YYYY-MM-DD」形式に変換して設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DD" ・例: 2017-03-09
49	<ValDt>	起算日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-

データ項目	XMLタグ	論理名	繰返	ISO20022定義		データ型	桁数		繰返	項目属性 土はタグのみ	桁数		本システムにおける定義 設定内容
				Represent/Type 土はタグのみ	データ型		MIN	MAX			MIN	MAX	
50	<Dt>	起算日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「起算日」を設定する。 全銀（データ）は“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09
51	<BkTxCd>	取引情報種別	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	<Domn>	取引情報種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	<Cd>	取引情報種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
54	<Fmly>	取引情報種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	<Cd>	取引情報種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“RCDT”を設定する。
56	<SubFmlyCd>	取引情報種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“DMCT”を設定する。
57	<NtryDtIs>	取引明細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
58	<TxDtIs>	取引詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59	<Refs>	取引明細識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」および「照会情報」が未設定となる場合、項番59<Refs>から項番63<Ref>のタグを設定しない。
60	<EndToEndId>	取引明細識別番号（振込依頼人発行）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」および「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」を設定する。
61	<Prtry>	照会情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「照会番号」が未設定の場合、項番61<Prtry>から項番63<Ref>のタグを設定しない。
62	<Tp>	照会情報種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	固定値“Reference Number”を設定する。
63	<Ref>	照会番号	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「照会番号」を設定する。
64	<BkTxCd>	取引明細種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
65	<Domn>	取引明細種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
66	<Cd>	取引明細種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
67	<Fmly>	取引明細種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
68	<Cd>	取引明細種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“RCDT”を設定する。
69	<SubFmlyCd>	取引明細種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“DMCT”を設定する。
70	<RltdPties>	振込依頼人情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
71	<Dbtr>	振込依頼人詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
72	<Nm>	振込依頼人名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人名」を設定する。
73	<Id>	振込依頼人識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
74	<OrgId>	振込依頼人組織識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人コード」が未設定の場合、項番75<Othr>から項番78<Cd>のタグを設定しない。
76	<Id>	振込依頼人コード	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人コード」を設定する。
77	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
78	<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentification1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“BANK”を設定する。
79	<Othr>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」と「受取人法人番号（法人マイナンバー）」のいずれかが設定されていない場合、項番79<Othr>から項番82<Cd>のタグを設定しない。
80	<Id>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」および「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。
81	<SchmeNm>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82	<Cd>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentification1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“TXID”を設定する。
83	<RltdAgts>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	「仕向金融機関詳細情報」および「仕向支店情報」が未設定となる場合、項番83<RltdAgts>から項番88<Nm>のタグを設定しない。
84	<DbtrAgt>	仕向金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
85	<FinInstnId>	仕向金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
86	<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「仕向銀行名」を設定する。
87	<BrnchId>	仕向支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「仕向支店名」が未設定の場合、項番87<BrnchId>から項番88<Nm>のタグを設定しない。
88	<Nm>	仕向支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「仕向支店名」を設定する。
89	<RltdRmtInf>	商流識別情報	[0..10]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「EDI情報」が未設定の場合、項番89<RltdRmtInf>から項番90<RmtId>のタグを設定しない。
90	<RmtId>	EDI情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「EDI情報」を設定する。
91	<RmtInf>	商流情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	該当する金融EDI情報が本システムに存在しない場合、項番91<RmtInf>から項番92<Ustrd>のタグを設定しない。
92	<Ustrd>	金融EDI情報	[0..n]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	-	本システムから取得した「金融EDI情報」を設定する。
93	<NtryDtIs>	うち他店券金額情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
94	<TxDtIs>	うち他店券金額取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
95	<AmtDtIs>	うち他店券金額合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
96	<TxAmt>	うち他店券金額情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	<Amt Ccy="JPY">	うち他店券金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「うち他店券金額」を設定する。
98	<BkTxCd>	うち他店券金額情報種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	<Domn>	うち他店券金額情報種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100	<Cd>	うち他店券金額情報種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
101	<Fmly>	うち他店券金額情報種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-
102	<Cd>	うち他店券金額情報種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“RCHQ”を設定する。
103	<SubFmlyCd>	うち他店券金額情報種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	固定値“CCHQ”を設定する。
104	<AddtlNtryInf>	仕向金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「ダミー」を設定する。
105	<AddtlNftctnInf>	金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	-	全銀（ヘッダー）における「ダミー」を設定する。

(4) 【camt.052】 入金取引明細結果明細レコード・フォーマット

レコード・フォーマット名称	【camt.052】 入金取引明細結果明細レコード・フォーマット
---------------	----------------------------------

- ① 説明
 ・本システムから企業へ、金融機関からの「入金取引明細結果」を連携するためのレコード・フォーマット

② レコードの内容

項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義				本システムにおける定義				
			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容	
1	<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>	XML宣言	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	<Document xmlns="urn:iso:std:iso:20022:tech:xsd:camt.052.001.02">	XMLドキュメントルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
3	<BkToCstmrAcctRpt>	入金取引明細ルート	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
4	<GrpHdr>	グループヘッダー情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
5	<MsgId>	グループメッセージID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	企業が送信した取引依頼を一意に特定できる受付番号を設定する。 ・形式: "YYYYMMDDhhmmssnnnnnn" ・YYYYMMDD…日付 ・hhmmss…時刻 ・nnnnnn…番号
6	<CreDtTm>	XMLファイル作成日時	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「作成日」を設定する。 全銀(ヘッダー)では"YYMMDD"(和暦)形式のため、"YYYY-MM-DD"形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
7	<Rpt>	入金取引明細情報	[1..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
8	<Id>	入金取引明細情報ID	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	企業へ送信する結果ファイルの範囲内でユニークとなる、「入金取引明細情報」単位の識別番号。 ・形式: 数字連番
9	<CreDtTm>	入金取引明細情報作成日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「作成日」を設定する。 全銀(ヘッダー)では"YYMMDD"(和暦)形式のため、"YYYY-MM-DD"形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
10	<FrToDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
11	<FrDtTm>	勘定日(自)	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(自)」を設定する。 全銀(ヘッダー)では"YYMMDD"(和暦)形式のため、"YYYY-MM-DD"形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
12	<ToDtTm>	勘定日(至)	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(至)」を設定する。 全銀(ヘッダー)では"YYMMDD"(和暦)形式のため、"YYYY-MM-DD"形式に変換後、時刻は"00:00:00"として設定する。 ・形式: "YYYY-MM-DDThh:mm:ss" ・例: 2017-03-06T00:00:00
13	<Acct>	口座情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
14	<Id>	口座識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
15	<Othr>	口座識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
16	<Id>	口座番号	[1..1]	Max34Text	string	1	34	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「口座番号」を設定する。
17	<Tp>	預金種目情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
18	<Prtry>	預金種目および通帳・証書区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	以下を設定する。 ・1桁目: 全銀(ヘッダー)における「預金種目」 ・2桁目: 全銀(ヘッダー)における「通帳・証書区分」 省略された場合は半角スペース1文字とする。 ・例: <普通預金、通帳の場合> "11" (区切り文字なし)
19	<Nm>	口座名	[0..1]	Max70Text	string	1	70	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「口座名」を設定する。
20	<Ownr>	受取人法人番号(法人マイナンバー)情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「[pain.001] 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」と「受取人法人番号(法人マイナンバー)」のいずれかが設定されていない場合、項番20<Ownr>から項番26<Cd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番20<Ownr>から項番26<Cd>のタグを設定しない。
21	<Id>	受取人法人番号(法人マイナンバー)識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
22	<OrgId>	受取人法人番号(法人マイナンバー)識別詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
23	<Othr>	受取人法人番号(法人マイナンバー)詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
24	<Id>	受取人法人番号(法人マイナンバー)	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	<普通口座の場合> 「[pain.001] 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」および「受取人法人番号(法人マイナンバー)」に値が設定されていた場合、「[pain.001] 総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「受取人法人番号(法人マイナンバー)」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
25	<SchmeNm>	受取人法人番号(法人マイナンバー)概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
26	<Cd>	受取人法人番号(法人マイナンバー)概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	<普通口座の場合> "TXID"を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
27	<Svcr>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
28	<FinInstnId>	金融機関識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
29	<ClrSysMmbId>	決済システム識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
30	<MmbId>	銀行コード	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「銀行コード」を設定する。
31	<Nm>	銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「銀行名」を設定する。
32	<BrnchId>	支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
33	<Id>	支店コード	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「支店コード」を設定する。
34	<Nm>	支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「支店名」を設定する。
35	<Bal>	取引前残高情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-
36	<Tp>	取引前残高種別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
37	<CdOrPrtry>	取引前残高種別コードおよび概要情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-
38	<Cd>	取引前残高種別コード	[1..1]	BalanceType12Code	string	4	4	-	-	-	固定値"OPAV"を設定する。
39	<Amt Ccy="JPY">	取引前残高	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「取引前残高」を設定する。 全銀(ヘッダー)における「貸越区分」を省略せず、「取引前残高」を省略した場合は"0"を設定する。
40	<CdtDbtInd>	取引前残高貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「貸越区分」を設定する。 <プラスの場合> "CRDT"を設定する。 <マイナスの場合> "DBIT"を設定する。 全銀(ヘッダー)における「取引前残高」を省略せず、「貸越区分」を省略した場合、本タグには"CRDT"を設定する。

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義				本システムにおける定義					
			繰返	Represent/Type またはタグのみ	データ型	桁数 MIN MAX	繰返	項目属性 またはタグのみ	桁数 MIN MAX	設定内容		
41	<Dt>	取引前勘定日(自)情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
42	<Dt>	取引前勘定日(自)	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(自)」を設定する。 全銀(ヘッダー)の「YYMMDD」(和暦)形式を「YYYY-MM-DD」形式に変換して設定する。 ・形式:「YYYY-MM-DD」 ・例:2017-03-09
43	<Bal>	取引後残高情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
44	<Tp>	取引後残高種別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
45	<CdOrPrtry>	取引後残高種別コードおよび概要情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
46	<Cd>	取引後残高種別コード	[1..1]	BalanceType12Code	string	4	4	-	-	-	-	固定値「CLAV」を設定する。
47	<Amt Ccy="JPY">	取引後残高	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「取引後残高」を設定する。 全銀(トレーラ)における「貸越区分」を省略せず、「取引後残高」を省略した場合は「0」を設定する。
48	<CdtDbtInd>	取引後残高貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「貸越区分」を設定する。 <プラスの場合> 「CRDT」を設定する。 <マイナスの場合> 「DBIT」を設定する。 全銀(トレーラ)における「取引後残高」を省略せず、「貸越区分」を省略した場合は「CRDT」を設定する。
49	<Dt>	取引後勘定日(至)情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
50	<Dt>	取引後勘定日(至)	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全銀(ヘッダー)における「勘定日(至)」を設定する。 全銀(ヘッダー)の「YYMMDD」(和暦)形式を「YYYY-MM-DD」形式に変換して設定する。 ・形式:「YYYY-MM-DD」 ・例:2017-03-09
51	<TxSummary>	総取引情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
52	<TlNtries>	総入出金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
53	<NbOfNtries>	データ・レコード件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「データ・レコード件数」を設定する。
54	<TrlCdtNtries>	入金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
55	<NbOfNtries>	入金件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「入金件数」を設定する。
56	<Sum>	入金額合計	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「入金額合計」を設定する。
57	<TrlDbtNtries>	出金情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
58	<NbOfNtries>	出金件数	[0..1]	Max15NumericText	numeric string	1	15	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「出金件数」を設定する。
59	<Sum>	出金額合計	[0..1]	DecimalNumber	decimal(18,17)	1	18	-	-	-	-	全銀(トレーラ)における「出金額合計」を設定する。
60	<Ntry>	取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀(データ)が0件の場合、項番60<Ntry>から項番173<AddtlNtryInf>のタグを設定しない。
61	<Amt Ccy="JPY">	取引金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全銀(データ)における「取引金額」を設定する。
62	<CdtDbtInd>	入払区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	全銀(データ)における「入払区分」を判定し設定する。 <入金の場合> 「CRDT」を設定する。 <出金の場合> 「DBIT」を設定する。 「取引区分」が「19」(訂正)の場合は判定条件は以下のとおりとなる。 <入金の場合> 「DBIT」を設定する。 <出金の場合> 「CRDT」を設定する。
63	<RvslInd>	取引訂正通知区分	[0..1]	TrueFalseIndicator	boolean	4	5	-	-	-	-	<全銀(データ)における「取引区分」が「19」(訂正)の場合> 「true」を設定する。 <全銀(データ)における「取引区分」が「19」(訂正)以外の場合> 本タグは設定しない。
64	<Sts>	取引ステータス	[1..1]	EntryStatus2Code	string	4	4	-	-	-	-	固定値「BOOK」を設定する。
65	<BookedDt>	勘定日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
66	<Dt>	勘定日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全銀(データ)における「勘定日」を設定する。 全銀(データ)の「YYMMDD」(和暦)形式を「YYYY-MM-DD」形式に変換して設定する。 ・形式:「YYYY-MM-DD」 ・例:2017-03-09
67	<ValDt>	預入・払出日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
68	<Dt>	預入・払出日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	全銀(データ)における「預入・払出日」を設定する。 通常は勘定日と同日であるが、その場合には勘定日と同一年月日を記入する。 ・形式:「YYYY-MM-DD」 ・例:2017-03-09
69	<BkTxCd>	取引区分情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
70	<Prtry>	取引区分詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀(データ)における「取引区分」が未設定の場合、項番70<Prtry>から項番71<Cd>のタグを設定しない。
71	<Cd>	取引区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀(データ)における「取引区分」を設定する。
72	<Chrgs>	定期性口座課税情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番72<Chrgs>から項番77<Amt Ccy="JPY">のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀(データ)における「税区分」、「税率」、および「税額」が未設定の場合、項番72<Chrgs>から項番77<Amt Ccy="JPY">のタグを設定しない。
73	<Amt Ccy="JPY">	定期性口座課税情報合計	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	固定値「0」を設定する。
74	<Tax>	税情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
75	<Id>	税区分	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀(データ)における「税区分」を設定する。
76	<Rate>	税率	[0..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀(データ)における「税率」を設定する。
77	<Amt Ccy="JPY">	税額	[0..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀(データ)における「税額」を設定する。
78	<Intrst>	定期性口座合計利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番78<Intrst>から項番87<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。
79	<Amt Ccy="JPY">	合計利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀(データ)における「合計利息」を設定する。 全銀(データ)における「当初預入日」、「利率」、「満期日」のいずれかが設定され、「合計利息」を省略した場合は「0」を設定する。

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義						本システムにおける定義					
			繰返	Represent/Type 主はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 主はタグのみ	桁数		設定内容		
						MIN	MAX			MIN	MAX			
80	<CdtDbtInd>	合計利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “CRDT”を設定する。
81	<Rate>	利率情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
82	<Tp>	利率詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
83	<Pctg>	利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「利率」を設定する。
84	<FrToDt>	預入日および満期日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番84<FrToDt>から項番86<ToDtTm>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> <全銀（データ）の「当初預入日」および「満期日」に値が設定されている場合> 本タグを設定する。 <上記以外> 項番84<FrToDt>から項番86<ToDtTm>のタグを設定しない。
85	<FrDtTm>	当初預入日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「当初預入日」を設定する。 全銀（データ）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は “00:00:00”として設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例：2017-03-06T00:00:00
86	<ToDtTm>	満期日	[1..1]	ISODateTime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「満期日」を設定する。 全銀（データ）では“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は “00:00:00”として設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例：2017-03-06T00:00:00
87	<Rsn>	当初預入日または満期日	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> <全銀（データ）の「当初預入日」のみ設定されている場合> 以下を設定する。 「FromDate:」&「全銀（データ）における「当初預入日」」 ・例：FromDate:2017-03-09 <全銀（データ）の「満期日」のみ設定されている場合> 以下を設定する。 「ToDate:」&「全銀（データ）における「満期日」」 ・例：ToDate:2017-03-09 全銀（データ）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09
88	<NtryDtls>	取引明細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
89	<TxDtls>	取引明細詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
90	<Refs>	取引明細識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」および「照会識別情報」が未設定となる場合、項番90<Refs> から項番94<Ref>のタグを設定しない。
91	<EndToEndId>	取引明細識別番号（振込依頼人発行）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融EDI情報」および「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「取引明細識別番号（振込依頼人発行）」を設定する。
92	<Prtry>	照会識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「照会番号」が未設定の場合、項番92<Prtry>から項番94<Ref>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「識別番号」が未設定の場合、項番92<Prtry>から項番94<Ref>のタグを設定しない。
93	<Tp>	照会識別情報種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	固定値“Reference/Identification Number”を設定する。
94	<Ref>	照会番号または識別番号	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「照会番号」を設定する。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「識別番号」を設定する。
95	<BkTxCd>	取引明細種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
96	<Domn>	取引明細種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
97	<Cd>	取引明細種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomainCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
98	<Fmly>	取引明細種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
99	<Cd>	取引明細種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	固定値“RCDT”を設定する。
100	<SubFmlyCd>	取引明細種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamilyCode	string	1	4	-	-	-	-	-	-	固定値“DMCT”を設定する。
101	<Intrst>	定期性口座期間利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番101<Intrst>から項番109<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀（データ）における「期間利息」、「期間利息正負表示」、「中間払区分」、「中間払利率」、「期間（1）」、および「期間（2）」が未設定となる場合、項番101<Intrst>から項番109<Rsn>のタグを設定しない。
102	<Amt Ccy="JPY">	期間利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期間利息」を設定する。 全銀（データ）における「期間（1）」、「中間払利率」、「中間払区分」、「期間（2）」、「期間利息正負表示」のいずれかが設定され、「期間利息」を省略した場合は“0”を設定する。
103	<CdtDbtInd>	期間利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期間利息正負表示」を設定する。 <プラスの場合> “CRDT”を設定する。 <マイナスの場合> “DBIT”を設定する。 全銀（データ）における「期間（1）」、「期間利息」、「中間払利率」、「中間払区分」、「期間（2）」のいずれかが設定され、「期間利息正負表示」を省略した場合は“CRDT”を設定する。
104	<Tp>	中間払区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「中間払区分」が未設定の場合、項番104<Tp>から項番105<Prtry>のタグを設定しない。
105	<Prtry>	中間払区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 1桁目に固定値“1”、 2桁目に全銀（データ）における「中間払区分」を設定する。
106	<Rate>	中間払利率情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「中間払利率」が未設定の場合、項番106<Rate>から項番108<Pctg>のタグを設定しない。
107	<Tp>	中間払利率詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

データ項目		ISO20022定義										本システムにおける定義			
項番	XMLタグ	論理名	繰返	Represent/Type 主はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 主はタグのみ	桁数		設定内容			
						MIN	MAX			MIN	MAX				
108	<Pctg>	中間払利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「中間払利率」を設定する。			
109	<Rsn>	期間（1）または期間（2）	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> <全銀（データ）における「期間（1）」がすべて“0”の場合> 全銀（データ）における「期間（2）」を設定する。 <上記以外の場合> 全銀（データ）における「期間（1）」を設定する。			
110	<Intrst>	定期性口座期後利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番110<Intrst>から項番118<Rsn>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀（データ）における「期後利息」、「期後利率」、および「期後期間」が未設定となる場合、項番110<Intrst>から項番118<Rsn>のタグを設定しない。			
111	<Amt Ccy="JPY">	期後利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期後利息」を設定する。 全銀（データ）における「期間（1）」、「期後期間」、「期後利率」のいずれかが設定され、「期後利息」を省略した場合は“0”を設定する。			
112	<CdtDbtInd>	期後利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “CRDT”を設定する。			
113	<Tp>	期後払区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-			
114	<Prtry>	期後払区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> “20”を設定する。			
115	<Rate>	期後利率情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「期後利率」が未設定の場合、項番115<Rate>から項番117<Pctg>のタグを設定しない。			
116	<Tp>	期後利率詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-			
117	<Pctg>	期後利率	[1..1]	PercentageRate	decimal(11,10)	1	11	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期後利率」を設定する。			
118	<Rsn>	期後期間	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「期後期間」を設定する。			
119	<Intrst>	定期性口座税引後利息情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 項番119<Intrst>から項番123<Prtry>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀（データ）における「税引後利息」が未設定となる場合、項番119<Intrst>から項番123<Prtry>のタグを設定しない。			
120	<Amt Ccy="JPY">	税引後利息	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> 全銀（データ）における「税引後利息」を設定する。			

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義						本システムにおける定義			
			繰返	Represent/Type 主はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 主はタグのみ	桁数		設定内容
						MIN	MAX			MIN	MAX	
121	<CdtDbtInd>	税引後利息貸越区分	[1..1]	CreditDebitCode	string	4	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> "CRDT"を設定する。
122	<Tp>	税引後払区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
123	<Prtry>	税引後払区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグは設定しない。 <定期性口座の場合> "30"を設定する。
124	<RltdPties>	振込依頼人情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「振込依頼人名または契約者番号」、「振込依頼人組織識別詳細情報」、および「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）情報」が未設定となる場合、項番124<RltdPties>から項番136<Cd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番124<RltdPties>から項番136<Cd>のタグを設定しない。
125	<Dbtr>	振込依頼人詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
126	<Nm>	振込依頼人名または契約者番号	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「振込依頼人名または契約者番号」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
127	<Id>	振込依頼人識別情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
128	<OrgId>	振込依頼人組織識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
129	<Othr>	振込依頼人組織識別詳細情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「振込依頼人コード」が未設定の場合、項番129<Othr>から項番132<Cd>のタグを設定しない。
130	<Id>	振込依頼人コード	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「振込依頼人コード」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
131	<SchmeNm>	振込依頼人概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 <定期性口座の場合> 項番131<SchmeNm>から項番132<Cd>のタグを設定しない。
132	<Cd>	振込依頼人概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	固定値 "BANK" を設定する。
133	<Othr>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融E D I 情報」と「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」のいずれかが設定されていない場合、項番133<Othr>から項番136<Cd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番133<Othr>から項番136<Cd>のタグを設定しない。
134	<Id>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で「金融E D I 情報」および「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」に値が設定されていた場合、「【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット」で連携された「振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
135	<SchmeNm>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
136	<Cd>	振込依頼人法人番号（法人マイナンバー）概要コード	[1..1]	ExternalOrganisationIdentificationCode	string	1	4	-	-	-	-	<普通口座の場合> "TXID"を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
137	<RltdAgts>	金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	「仕向金融機関情報」および「僚店番号情報」が未設定となる場合、項番137<RltdAgts>から項番146<Id>のタグを設定しない。
138	<DbtrAgt>	仕向金融機関情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、「仕向金融機関詳細情報」および「仕向支店情報」が未設定となる場合、項番138<DbtrAgt>から項番142<Nm>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番138<DbtrAgt>から項番142<Nm>のタグを設定しない。
139	<FinInstnId>	仕向金融機関詳細情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
140	<Nm>	仕向銀行名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「仕向銀行名」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
141	<BrnchId>	仕向支店情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「仕向店名」が未設定の場合、項番141<BrnchId>から項番142<Nm>のタグを設定しない。
142	<Nm>	仕向支店名	[0..1]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「仕向店名」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
143	<CdtrAgt>	僚店番号情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「僚店番号」が未設定の場合、項番143<CdtrAgt>から項番146<Id>のタグを設定しない。
144	<FinInstnId>	僚店番号識別情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
145	<BrnchId>	僚店番号詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
146	<Id>	僚店番号	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀（データ）における「僚店番号」を設定する。
147	<RltdRmtInf>	商流識別情報	[0..10]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、全銀（データ）における「E D I 情報」が未設定の場合、項番147<RltdRmtInf>から項番148<RmtId>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番147<RltdRmtInf>から項番148<RmtId>のタグを設定しない。
148	<RmtId>	E D I 情報	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	<普通口座の場合> 全銀（データ）における「E D I 情報」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
149	<RmtInf>	商流情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本タグを設定する。 ただし、該当する金融E D I 情報が本システムに存在しない場合、項番149<RmtInf>から項番150<Ustrd>のタグを設定しない。 <定期性口座の場合> 項番149<RmtInf>から項番150<Ustrd>のタグを設定しない。
150	<Ustrd>	金融E D I 情報	[0..n]	Max140Text	string	1	140	-	-	-	-	<普通口座の場合> 本システムから取得した「金融E D I 情報」を設定する。 <定期性口座の場合> 本タグは設定しない。
151	<NtryDtls>	手形・小切手情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
152	<TxDtls>	手形・小切手取引情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
153	<Refs>	手形・小切手取引詳細情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「手形・小切手番号」が未設定の場合、項番153<Refs>から項番157<Ref>のタグを設定しない。
154	<ChqNb>	手形・小切手番号	[0..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀（データ）における「手形・小切手番号」を設定する。
155	<Prtry>	手形・小切手区分情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「手形・小切手区分」が未設定の場合、項番155<Prtry>から項番157<Ref>のタグを設定しない。
156	<Tp>	手形・小切手区分	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	全銀（データ）における「手形・小切手区分」を設定する。
157	<Ref>	手形・小切手区分詳細	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	固定値 "0" を設定する。
158	<AmtDtls>	うち他店券金額合計情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
159	<TxAmt>	うち他店券金額情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-
160	<Amt Ccy="JPY">	うち他店券金額	[1..1]	ActiveOrHistoricCurrencyAndAmount	decimal(18,5)	1	18	-	-	-	-	全銀（データ）における「うち他店券金額」を設定する。

データ項目	XMLタグ	論理名	ISO20022定義						本システムにおける定義						
			繰返	Represent/Type ±はタグのみ	データ型	桁数		繰返	項目属性 ±はタグのみ	桁数		設定内容			
						MIN	MAX			MIN	MAX				
161	<BkTxCd>	手形・小切手情報種別	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
162	<Domn>	手形・小切手情報種別ドメイン情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
163	<Cd>	手形・小切手情報種別ドメインコード	[1..1]	ExternalBankTransactionDomain1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	-	-	固定値“PMNT”を設定する。
164	<Fmly>	手形・小切手情報種別系列コード情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
165	<Cd>	手形・小切手情報種別系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	-	-	固定値“RCHQ”を設定する。
166	<SubFmlyCd>	手形・小切手情報種別サブ系列コード	[1..1]	ExternalBankTransactionSubFamily1Code	string	1	4	-	-	-	-	-	-	-	固定値“CCHQ”を設定する。
167	<RltdDts>	交換表示日および不渡返還日情報	[0..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	「交換表示日」および「日付識別情報」が未設定となる場合、項番167<RltdDts>から項番172<Dt>のタグを設定しない。
168	<AcceptncDtTm>	交換表示日	[0..1]	ISODatetime	datetime	19	23	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「交換表示日」を設定する。 全銀（データ）は“YYMMDD”（和暦）形式のため、“YYYY-MM-DD”形式に変換後、時刻は“00:00:00”として設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DDThh:mm:ss” ・例：2017-03-06T00:00:00
169	<Prtry>	日付識別情報	[0..n]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「不渡返還日」が未設定の場合、項番169<Prtry>から項番172<Dt>のタグを設定しない。
170	<Tp>	日付種別	[1..1]	Max35Text	string	1	35	-	-	-	-	-	-	-	固定値“Dishonored Return Date”を設定する。
171	<Dt>	不渡返還日情報	[1..1]	±	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
172	<Dt>	不渡返還日	[1..1]	ISODate	date	10	10	-	-	-	-	-	-	-	全銀（データ）における「不渡返還日」を設定する。 全銀（データ）の“YYMMDD”（和暦）形式を“YYYY-MM-DD”形式に変換して設定する。 ・形式：“YYYY-MM-DD” ・例：2017-03-09
173	<AddtlNtryInf>	摘要内容および仕向金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	-	-	-	以下を設定する。 「全銀（データ）における「摘要内容」&「:」（半角コロン）& 「全銀（データ）における「ダミー」」 ・例：イナウイナウ108:00:00
174	<AddtlRptInf>	金融機関指示情報	[0..1]	Max500Text	string	1	500	-	-	-	-	-	-	-	以下を設定する。 「全銀（ヘッダー）における「ダミー」（前）&「:」（半角コロン）& 「全銀（ヘッダー）における「ダミー」（後）」 ・例：000:dummy1234567890dummy1234567890dummy1234567890dummy1234567890dummy123456

参考 マッピング定義

企業と本システム間のレコード・フォーマットと全銀協制定レコード・フォーマット等（固定長）とのマッピング定義について、以下に示す。

1. 通信を制御する情報のマッピング定義

本システムへ送信する【BAH】と制御情報（固定長）

通信制御電文（固定長）

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	C	1	伝送テキストコントロール部 (TTC)	X, B	5	
2		2	電文区分	X	1	01:開局要求 02:開局回答 03:閉局要求 04:閉局回答 ■システム設定 シーケンスに応じて設定
3		3	処理結果	X	1	未設定
4		4	相手センター確認コード	X	7	14桁
5		5	当方センター確認コード	X	7	14桁
6		6	通信年月日時分秒	X	6	■システム設定
7		7	パスワード ※電文区分別に異なるものを使用可	X, B, C	6	6桁
8		8	アプリケーションID	C	1	0:ファイル伝送
9		9	モード	C	1	0:連絡 1:照会
10		10	拡張用エリア	X	34	○今後の拡張用の予備 (FILLER X" 00")

ファイル制御電文（固定長）

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	F	1	伝送テキストコントロール部 (TTC)	X, B	5	
2		2	電文区分	X	1	10:開始要求 11:開始回答 12:終了要求 13:終了回答 14:再送要求 ■システム設定 シーケンス、再送有無に応じて設定
3		3	処理結果	X	1	未設定
4		4	ファイル名	X, B, C	12	12桁
5		5	ファイルアクセスキー ※電文区分別に異なるものを使用可	X, B, C	6	6桁
6		6	テキスト数	B	2	■システム設定
7		7	レコード数	B	3	■システム設定
8		8	レコードID	C	1	0:固定長 1:可変長 ■システム設定 「0」固定
9		9	レコード長	B	2	■システム設定 pain. 001. 001. 03の場合、120 camt. 052. 001. 02の場合、200 camt. 054. 001. 02の場合、200
10		10	再送指定区分	B	4	■システム設定 「電文区分」が14:再送要求の場合
11		11	データ圧縮ID	C	1	0:圧縮なし 1:圧縮あり ■システム設定 契約内容に応じて設定
12		12	ファイル名補助情報 (オプション)	X, B, C	17	ファイル名とペアで使用する ファイル名を細分化する 34桁
13		13	拡張用エリア	X	14	○今後の拡張用の予備 (FILLER X" 00")

本システムへ送信する【BAH】

XML →固定長 マッピング	通番	
	1	<?xml version="1.0" >
	2	<AppHdr>
	3	<Fr>
	4	<OrgId>
	5	<Id>
	6	<OrgId>
	7	<Othr>
C5 C7	8	<Id>
	9	<SchmeNm>
	10	<Prtry>
	11	<Othr>
F5	12	<Id>
	13	<SchmeNm>
	14	<Prtry>
	15	<To>
	16	<FIId>
	17	<FinInstnId>
	18	<Othr>
C4	19	<Id>
	20	<Issr>
F12	21	<BizMsgIdr>
F9	22	<MsgDefIdr>
C9 F4 C1、F1 F2、F10	23	<BizSvc>
	24	<CreDt>

【凡例】
 区分……C：通信制御
 F：ファイル制御
 ■システム設定：本システムにおいて、
 設定する値

2. 業務に関する情報のマッピング定義

(1) 【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマットと総合振込レコード・フォーマット（固定長）

総合振込レコード・フォーマット(固定長)

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	H	1	データ区分	N	1	「1」（ヘッダー・レコード）固定値
2		2	種別コード	N	2	「21」（総合振込）固定値
3		3	コード区分	N	1	「0」（JIS）、「1」（EBCDIC）
4		4	振込依頼人コード（取引企業コード）	N	10	
5		5	振込依頼人名	C	40	
6		6	取組日	N	4	振込日を表す。 MMDD（月-日）
7		7	仕向銀行番号	N	4	統一金融機関番号
8		8	※仕向銀行名	C	15	
9		9	仕向支店番号	N	3	統一店番号
10		10	※仕向支店名	C	15	
11		11	※預金種目（依頼人）	N	1	「1」（普通預金） 「2」（当座預金） 「9」（その他）
12		12	※口座番号（依頼人）	N	7	
13		13	ダミー	C	17	スペースを設定
14	D	1	データ区分	N	1	「2」（データ・レコード）固定値
15		2	被仕向銀行番号	N	4	統一金融機関番号
16		3	※被仕向銀行名	C	15	
17		4	被仕向支店番号	N	3	統一店番号
18		5	※被仕向支店名	C	15	
19		6	※手形交換所番号	N	4	
20		7	預金種目	N	1	「1」（普通預金） 「2」（当座預金） 「4」（貯蓄預金） 「9」（その他）
21		8	口座番号	N	7	
22		9	受取人名	C	30	
23		10	振込金額	N	10	
24		11	新規コード	N	1	「0」（その他） 「1」（第1回振込分） 「2」（変更分（被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号））
25		12	※EDI情報	C	20	マッチングキーを設定
26		13	※振込指定区分	N	1	「7」（テレ振込） 「8」（文書振込）
27		14	※識別表示	C	1	「Y」またはスペース 本欄に「Y」表示を付した場合は、項番12の項目内容は「EDI 情報」を表わす。
28		15	ダミー	C	7	スペースを設定
29	T	1	データ区分	N	1	「8」（トレーラ・レコード）固定値
30		2	合計件数	N	6	データ・レコードのレコード数を設定
31		3	合計金額	N	12	全てのデータ・レコードの振込金額の合計を設定
32		4	ダミー	C	101	スペースを設定
33	E	1	データ区分	N	1	「9」（エンド・レコード）固定値
34		2	ダミー	C	119	スペースを設定

※は任意項目

【凡例】

区分……H：ヘッダー・レコード
D：データ・レコード
T：トレーラ・レコード
E：エンド・レコード

【pain.001】総合振込依頼明細レコード・フォーマット

XML →固定長 マッピング*	通番	タグ
	1	<?xml version="1.0">
	2	<Document>
	3	<CstmrCdtTrfInitt>
	4	<GrpHdr>
	5	<MsgId>
	6	<CreDtTm>
	7	<NbOfTxs>
	8	<InitgPty>
	9	<PmtInf>
	10	<PmtInfId>
	11	<PmtMtd>
T2	12	<NbOfTxs>
T3	13	<CtrlSum>
	14	<PmtTpInf>
	15	<CtgyPurp>
H2	16	<Cd>
H6	17	<ReqdExctnDt>
	18	<Dbtr>
	19	<Id>
	20	<OrgId>
	21	<Othr>
H4	22	<Id>
	23	<SchmeNm>
	24	<Cd>
	25	<Othr>
	26	<Id>
	27	<SchmeNm>
	28	<Cd>
	29	<DbtrAcct>
	30	<Id>
	31	<Othr>
H12	32	<Id>
	33	<Tp>
H11	34	<Prtry>
	35	<DbtrAgt>
	36	<FinInstnId>
	37	<ClrSysMmbId>
	38	<ClrSysId>
	39	<Cd>
	40	<MmbId>
H7	40	<Nm>
H8	41	<BrnchId>
	42	<Id>
H9	43	<Nm>
H10	44	<Nm>
	45	<UltmtDbtr>
H5	46	<Nm>
	47	<CdtTrfTxInf>
	48	<PmtId>
	49	<EndToEndId>
	50	<Amt>
D10	51	<InstAmt Ccy="JPY">
	52	<CdtAgt>
	53	<FinInstnId>
D2	55	<ClrSysMmbId>
D3	56	<MmbId>
	57	<Nm>
	58	<Othr>
D6	58	<Id>
	59	<BrnchId>
D4	60	<Id>
D5	61	<Nm>
	62	<Cdt>
D9	63	<Nm>
	64	<Id>
	65	<OrgId>
	66	<Othr>
	67	<Id>
	68	<SchmeNm>
	69	<Cd>
	70	<Othr>
D12	71	<Id>
	72	<SchmeNm>
	73	<Prtry>
	74	<Othr>
D12	75	<Id>
	76	<SchmeNm>
	77	<Prtry>
	78	<CdtAcct>
	79	<Id>
	80	<Othr>
D8	81	<Id>
	82	<Tp>
D7	83	<Prtry>
	84	<InstrForCdtAgt>
D13	85	<InstrInf>
D14、D15、H13	86	<InstrForDbtrAgt>
	87	<Purp>
D11	88	<Prtry>
	89	<RmtInf>
D12	90	<Ustrd>

振込入金通知レコード・フォーマット（固定長）（フォーマットA）

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	H	1	データ区分	N	1	「1」（ヘッダー・レコード）固定値
2		2	種別コード	N	2	「01」（振込入金通知）固定値
3		3	コード区分	N	1	「0」（JIS）、「1」（EBCDIC）
4		4	作成日	N	6	YYMMDD（和暦）
5		5	勘定日（自）	N	6	YYMMDD（和暦）
6		6	勘定日（至）	N	6	YYMMDD（和暦）
7		7	銀行コード	N	4	統一金融機関番号
8		8	銀行名	C	15	
9		9	支店コード	N	3	統一店番号
10		10	支店名	C	15	
11		11	預金種目	N	1	「1」（普通預金） 「2」（当座預金） 「4」（貯蓄預金）
12		12	口座番号	N	7	
13		13	口座名	C	40	
14		14	ダミー	C	93	スペースを設定
15	D	1	データ区分	N	1	「2」（データ・レコード）固定値
16		2	※照会番号	N	6	
17		3	勘定日	N	6	YYMMDD（和暦）
18		4	起算日	N	6	YYMMDD（和暦）
19		5	金額	N	10	
20		6	うち他店券金額	N	10	
21		7	※振込依頼人コード	N	10	
22		8	振込依頼人名	C	48	
23		9	※仕向銀行名	C	15	
24		10	※仕向店名	C	15	
25		11	※取消区分	N	1	振込入金通知を取り消す場合に使用する 「1」（取消）
26		12	EDI情報	C	20	マッチングキー
27		13	ダミー	C	52	スペースを設定
28	T	1	データ区分	N	1	「8」（トレーラ・レコード）固定値
29		2	振込合計件数	N	6	振込のデータ・レコードのレコード数を設定
30		3	振込合計金額	N	12	振込のデータ・レコードの振込金額の合計を設定
31		4	※取消合計件数	N	6	取消のデータ・レコードのレコード数を設定
32		5	※取消合計金額	N	12	取消のデータ・レコードの振込金額の合計を設定
33		6	ダミー	C	163	スペースを設定
34	E	1	データ区分	N	1	「9」（エンド・レコード）固定値
35		2	ダミー	C	199	スペースを設定

※は任意項目

振込入金通知レコード・フォーマット（フォーマットB）

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	D	1	データ区分	N	1	「2」（データ・レコード）固定値
2		2	※照会番号	N	6	
3		3	勘定日	N	6	YYMMDD（和暦）
4		4	起算日	N	6	YYMMDD（和暦）
5		5	金額(1)	N	10	「0」固定値
6		6	うち他店券金額(1)	N	10	「0」固定値
7		7	※振込依頼人コード	N	10	
8		8	振込依頼人名	C	48	
9		9	※仕向銀行名	C	15	
10		10	※仕向店名	C	15	
11		11	※取消区分	N	1	振込入金通知を取り消す場合に使用する 「1」（取消）
12		12	金額(2)	N	12	
13		13	うち他店券金額(2)	N	12	
14		14	EDI情報	C	20	マッチングキー
15		15	ダミー	C	28	スペースを設定

※は任意項目

【凡例】

区分……H：ヘッダー・レコード
D：データ・レコード
T：トレーラ・レコード
E：エンド・レコード

【camt.054】振込入金通知結果明細レコード・フォーマット

固定長→XML マッピング		通番	タグ
フォーマットA	フォーマットB		
		1	<?xml version="1.0">
		2	<Document>
		3	<BkToCstmrDbtCdtNtfctn>
		4	<GrpHdr>
		5	<MsgId>
		6	<CreDtTm>
H4		7	<Ntfctn>
		8	<Id>
		9	<CreDtTm>
H4		10	<FrToDt>
		11	<FrDtTm>
		12	<ToDtTm>
		13	<Acct>
		14	<Id>
		15	<Othr>
		16	<Id>
H12		17	<Tp>
		18	<Prtry>
H11		19	<Nm>
H13		20	<Ownr>
		21	<Id>
		22	<OrgId>
		23	<Othr>
		24	<Id>
		25	<SchmeNm>
		26	<Cd>
		27	<Svcr>
		28	<FinInstnId>
		29	<ClrSysMmbId>
		30	<MmbId>
H7		31	<Nm>
		32	<BrnchId>
		33	<Id>
		34	<Nm>
		35	<TxSummary>
		36	<TtlCdtNtries>
		37	<NbOfNtries>
T2		38	<Sum>
T3		39	<TtlDbtNtries>
		40	<NbOfNtries>
T4		41	<Sum>
T5		42	<Ntry>
D5	D12	43	<Amt Ccy="JPY">
	D11	44	<CdtDbtInd>
	D11	45	<RvslInd>
		46	<Sts>
		47	<BookgDt>
		48	<Dt>
		49	<ValDt>
	D3	50	<Dt>
	D4	51	<BkTxCd>
		52	<Domn>
		53	<Cd>
		54	<Fmly>
		55	<Cd>
		56	<SubFmlyCd>
		57	<NtryDtls>
		58	<TxDtls>
		59	<Refs>
		60	<EndToEndId>
		61	<Prtry>
		62	<Tp>
		63	<Ref>
D2		64	<BkTxCd>
		65	<Domn>
		66	<Cd>
		67	<Fmly>
		68	<Cd>
		69	<SubFmlyCd>
		70	<RltdPties>
		71	<Dbtr>
		72	<Nm>
D8		73	<Id>
		74	<OrgId>
		75	<Othr>
		76	<Id>
D7		77	<SchmeNm>
		78	<Cd>
		79	<Othr>
		80	<Id>
		81	<SchmeNm>
		82	<Cd>
		83	<RltdAgts>
		84	<DbtrAgt>
		85	<FinInstnId>
		86	<Nm>
D9		87	<BrnchId>
		88	<Nm>
D10		89	<RltdRmtInf>
		90	<RmtId>
D12	D14	91	<RmtInf>
		92	<Ustrd>
		93	<NtryDtls>
		94	<TxDtls>
		95	<AmtDtls>
		96	<TxAmt>
D6	D13	97	<Amt Ccy="JPY">
		98	<BkTxCd>
		99	<Domn>
		100	<Cd>
		101	<Fmly>
		102	<Cd>
		103	<SubFmlyCd>
D13	D15	104	<AddlNtryInf>
		105	<AddlNtfctnInf>

入金取引明細レコード・フォーマット(固定長)(普通預金・当座預金・貯蓄預金)

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	H	1	データ区分	N	1	「1」(ヘッダー・レコード) 固定値
2		2	種別コード	N	2	「03」(入金取引明細) 固定値
3		3	コード区分	N	1	「0」(JIS)、「1」(EBCDIC)
4		4	作成日	N	6	YYMMDD
5		5	勘定日(自)	N	6	YYMMDD
6		6	勘定日(至)	N	6	YYMMDD
7		7	銀行コード	N	4	統一金融機関番号
8		8	銀行名	C	15	
9		9	支店コード	N	3	統一店番号
10		10	支店名	C	15	
11		11	ダミー	N	3	「000」固定値
12		12	預金種目	N	1	「1」(普通預金) 「2」(当座預金) 「4」(貯蓄預金) 「5」(通知預金) 「6」(定期預金) 「7」(積立定期預金)
13		13	口座番号	N	10	
14		14	口座名	C	40	
15		15	※貸越区分	N	1	取引前残高の状態を表す 「1」(プラス) 「2」(マイナス)
16		16	※通帳・証書区分	N	1	「1」(通帳) 「2」(証書)
17		17	※取引前残高	N	14	
18		18	ダミー	C	71	スペースを設定
19	D	1	データ区分	N	1	「2」(データ・レコード) 固定値
20		2	※照会番号	N	8	
21		3	勘定日	N	6	YYMMDD
22		4	預入・払出日	N	6	YYMMDD(入金・出金の起算日を表し、勘定日と同一年月日)
23		5	入払区分	N	1	「1」(入金) 「2」(出金) (注)取引区分「19」(訂正)の場合 入金訂正の場合は「2」(出金) 出金訂正の場合は「1」(入金)
24		6	※取引区分	N	2	「10」(現金) 「11」(振込) 「12」(他店券入金) 「13」(交換(取立入金および交換払)) 「14」(振替) 「18」(その他) 「19」(訂正)
25		7	取引金額	N	12	
26		8	うち他店券金額	N	12	取引金額中の他店券金額
27		9	※交換呈示日	N	6	YYMMDD
28		10	※不渡返還日	N	6	YYMMDD
29		11	※手形・小切手区分	N	1	「1」(小切手) 「2」(約束手形) 「3」(為替手形)
30		12	※手形・小切手番号	N	7	
31		13	※僚店番号	N	3	取引のあった店を表す(統一店番号)
32		14	※振込依頼人コード	N	10	
33		15	※振込依頼人名または契約者番号	C	48	入払区分が「1」(入金)の場合、振込依頼人名 入払区分が「2」(出金)の場合、預金口座振替の契約者 番号(収納企業が採番した20桁以内のコード)を左20 桁に記録し、残り28桁はスペースとする
34		16	※仕向銀行名	C	15	
35		17	※仕向店名	C	15	
36		18	※摘要内容	C	20	
37		19	※EDI情報	C	20	マッチングキー
38		20	ダミー	C	1	スペースを設定
39	T	1	データ区分	N	1	「8」(トレーラ・レコード) 固定値
40		2	入金件数	N	6	入金のデータ・レコードのレコード数を設定
41		3	入金額合計	N	13	入金のデータ・レコードの入金額の合計を設定
42		4	出金件数	N	6	出金のデータ・レコードのレコード数を設定
43		5	出金額合計	N	13	出金のデータ・レコードの出金額の合計を設定
44		6	※貸越区分	N	1	取引前残高の状態を表す 「1」(プラス) 「2」(マイナス)
45		7	※取引後残高	N	14	
46		8	データ・レコード件数	N	7	データ・レコードのレコード数を設定
47		9	ダミー	C	139	スペースを設定
48	E	1	データ区分	N	1	「9」(エンド・レコード) 固定値
49		2	レコード総件数	N	10	全てのデータ区分の合計レコード数を設定
50		3	口座数	N	5	
51		4	ダミー	C	184	スペースを設定

※は任意項目

【camt.052】入金取引明細結果明細レコード・フォーマット

固定長→XMLマッピング		通番	タグ
普通	通知		
		1	<?xml version="1.0">
		2	<Document>
		3	<BkToCstmrAcctRpt>
		4	<GrpHdr>
		5	<MsgId>
	H4	6	<CreDtTm>
		7	<Rpt>
		8	<Id>
	H4	9	<CreDtTm>
		10	<FrToDt>
	H5	11	<FrDtTm>
	H6	12	<ToDtTm>
		13	<Acct>
		14	<Id>
		15	<Othr>
		16	<Id>
	H13	17	<Tp>
		18	<Prtry>
	H12、H16	18	<Nm>
	H14	19	<Ownr>
		20	<Id>
		21	<OrgId>
		22	<Othr>
		23	<Id>
		24	<SchmeNm>
		25	<Cd>
		26	<Svcr>
		27	<FinInstnId>
		28	<ClrSysMmbId>
	H7	29	<MmbId>
		30	<Nm>
	H8	31	<BrnchId>
		32	<Id>
	H9	33	<Nm>
	H10	34	<Bal>
		35	<Tp>
		36	<CdOrPrtry>
		37	<Cd>
		38	<Amt Ccy="JPY">
	H17	39	<CdtDbtInd>
	H15	40	<Dt>
		41	<Bal>
	H5	42	<Tp>
		43	<CdOrPrtry>
		44	<Cd>
		45	<Amt Ccy="JPY">
		46	<CdtDbtInd>
		47	<Dt>
	T7	47	<TxSSummary>
	T6	48	<TtlNtries>
		49	<NbOfNtries>
	H6	50	<TtlCdtNtries>
		51	<NbOfNtries>
		52	<Sum>
		53	<TtlDbtNtries>
		54	<NbOfNtries>
		55	<Sum>
		56	<Ntry>
		57	<Amt Ccy="JPY">
		58	<CdtDbtInd>
		59	<RvslInd>
		60	<Sts>
		61	<BookgDt>
		62	<Dt>
		63	<ValDt>
		64	<Dt>
	D7	65	<BkTxCd>
		66	<Prtry>
	D4	68	<Cd>
		69	<Chrgs>
		70	<Amt Ccy="JPY">
		71	<Tax>
		72	<Id>
		73	<Rate>
	D25	75	<Amt Ccy="JPY">
	D26	76	<Intrst>
	D27	77	<Amt Ccy="JPY">
		78	<Intrst>
	D24	79	<Amt Ccy="JPY">

通番	区分	枝番	項目名	属性	桁数	備考
1	D	1	データ区分	N	1	「2」(データ・レコード) 固定値
2		2	※識別番号	N	8	
3		3	勘定日	N	6	YYMMDD
4		4	預入・払出日	N	6	YYMMDD (入金・出金の起算日を表し、勘定日と同一年)
5		5	入払区分	N	1	「1」(入金) 「2」(出金) (注)取引区分「19」(訂正)の場合 入金訂正の場合は「2」(出金) 出金訂正の場合は「1」(入金)
6		6	※取引区分	N	2	「10」(現金) 「11」(振込) 「12」(他店券入金) 「13」(交換(取立入金および交換払)) 「14」(振替) 「15」(継続(自動継続を含む)) 「18」(その他) 「19」(訂正)
7		7	取引金額	N	12	
8		8	うち他店券金額	N	12	取引金額中の他店券金額
9		9	※交換呈示日	N	6	YYMMDD
10		10	※不渡返還日	N	6	YYMMDD
11		11	※手形・小切手区分	N	1	「1」(小切手) 「2」(約束手形) 「3」(為替手形)
12		12	※手形・小切手番号	N	7	
13		13	※僚店番号	N	3	取引のあった店を表す(統一店番号)
14		14	※当初預入日	N	6	YYMMDD
15		15	利率	N	6	上2桁整数、下4桁小数部
16		16	※満期日	N	6	YYMMDD
17		17	※期間(1)	N	7	YMMDDDD
18		18	※期間利息	N	11	
19		19	※中間払利率	N	6	上2桁整数、下4桁小数部
20		20	※中間払区分	N	1	定期預金の中間払利息の支払区分 「1」(現払) 「2」(指定口座への振替) 「3」(定期預金の作成)
21		21	※期後期間	N	4	日数表示
22		22	※期後利率	N	6	上2桁整数、下4桁小数部
23		23	※期後利息	N	9	
24		24	※合計利息	N	11	
25		25	※税区分	N	1	「1」(総合課税) 「2」(分離課税) 「3」(マル優) 「5」(非居住者) 「9」(その他)
26		26	※税率	N	4	上2桁整数、下2桁小数部
27		27	※税額	N	10	
28		28	※税引後利息	N	11	
29		29	※摘要内容	C	20	
30		30	※期間(2)	N	5	通番17「期間(1)」が表示できない場合に使用する
31		31	※期間利息正負表示	N	1	通番18「期間利息」の正負を表す 「1」(プラス) 「2」(マイナス)
32		32	ダミー	C	4	スペースを設定

※は任意項目

【凡例】

区分……H:ヘッダー・レコード
D:データ・レコード
T:トレーラ・レコード
E:エンド・レコード

固定長→XMLマッピング*		通番	タグ
普通	通知		
		80	<CdtDbtInd>
		81	<Rate>
		82	<Tp>
	D15	83	<Pctg>
		84	<FrToDt>
	D14	85	<FrDtTm>
	D16	86	<ToDtTm>
	D14orD16	87	<Rsn>
		88	<NtryDtIs>
		89	<TxDtIs>
		90	<Refs>
		91	<EndToEndId>
		92	<Prtry>
		93	<Tp>
	D2	94	<Ref>
		95	<BkTxCd>
		96	<Domn>
		97	<Cd>
		98	<Fmly>
		99	<Cd>
		100	<SubFmlyCd>
		101	<Intrst>
	D18	102	<Amt Ccy="JPY">
	D31	103	<CdtDbtInd>
		104	<Tp>
	D20	105	<Prtry>
		106	<Rate>
		107	<Tp>
	D19	108	<Pctg>
	D17orD30	109	<Rsn>
		110	<Intrst>
	D23	111	<Amt Ccy="JPY">
		112	<CdtDbtInd>
		113	<Tp>
		114	<Prtry>
		115	<Rate>
		116	<Tp>
	D22	117	<Pctg>
	D21	118	<Rsn>
		119	<Intrst>
	D28	120	<Amt Ccy="JPY">
		121	<CdtDbtInd>
		122	<Tp>
		123	<Prtry>
		124	<RltdPties>
		125	<Dbtr>
D15		126	<Nm>
		127	<Id>
		128	<OrgId>
		129	<Othr>
D14		130	<Id>
		131	<SchmeNm>
		132	<Cd>
		133	<Othr>
		134	<Id>
		135	<SchmeNm>
		136	<Cd>
		137	<RltdAgts>
		138	<DbtrAgt>
		139	<FinInstnId>
D16		140	<Nm>
		141	<BrnchId>
D17		142	<Nm>
		143	<CdtrAgt>
		144	<FinInstnId>
		145	<BrnchId>
	D13	146	<Id>
		147	<RltdRmtInf>
D19		148	<RmtId>
		149	<RmtInf>
		150	<Ustrd>
		151	<NtryDtIs>
		152	<TxDtIs>
		153	<Refs>
	D12	154	<ChqNb>
		155	<Prtry>
	D11	156	<Tp>
		157	<Ref>
		158	<AmtDtIs>
		159	<TxAmt>
	D8	160	<Amt Ccy="JPY">
		161	<BkTxCd>
		162	<Domn>
		163	<Cd>
		164	<Fmly>
		165	<Cd>
		166	<SubFmlyCd>
		167	<RltdDts>
	D9	168	<AcceptncDtTm>
		169	<Prtry>
		170	<Tp>
		171	<Dt>
	D10	172	<Dt>
D18、D20	D29、D32	173	<AddtlNtryInf>
H11、H18		174	<AddtlRptInf>

付録 振込依頼人名・受取人名などの記入

A. 個人の姓および名、法人または営業所の種類名および名称は、それぞれ分ち書きせず、個人の姓と名、法人の種類名と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間にスペース(SP)を入れて分ち書きする。

ただし、後記 B により略語を使用する場合には、SP に代えてカッコを使用する。

- (例) ① 個人の場合
「山本一郎」→ヤマモト SP イチロウ
② 法人の場合
「株式会社山本商店東京支店」
→カブシキガイシヤ SP ヤマモトシヨウテン SP トウキョウシテン

B. 略語の使用方法

法人、営業所および事業所の種類名は、次の用法にもとづき略語を使用することができる。

(A) 法人略語および営業所略語は、略語判別表示としてカッコを付して使用する。

なお、事業略語には、略語判別表示を付さず、冠頭語と事業略語とは続けて記入し、分ち書きしない。

- (例) 「株式会社山本商事」 → カ)ヤマモトシヨウシ
「山本商事株式会社東京営業所」 → ヤマモトシヨウシ (カ)トウキョウ(エイ
「山本商事株式会社」 → ヤマモトシヨウシ (カ)

(B) 略語の使用は、1 法人名につき 1 個とする。ただし、法人略語、事業略語および営業所略語のそれぞれを組合せて併用してもよい。

- (例) 「昭和火災海上保険 株式会社 名古屋営業所」の場合 → ショウワカサイ(カ)ナゴヤ(エイ
(事業略語) (法人略語) (営業所略語)

(C) 略語を使用することができる用語および略語

用 語	かな文字による略語	用 語	かな文字による略語
1.法人略語		2.営業所略語	
株式会社	カ	営業所	エイ
有限会社	ユ	出張所	シユツ
合名会社	メ	3.事業略語	
合資会社	シ	連合会	レン
合同会社	ド	共済組合	キヨウサイ
医療法人	}	協同組合	キヨウクミ
医療法人社団		生命保険	セイメイ
医療法人財団		海上火災保険	カイシヨウ
社会医療法人		火災海上保険	カサイ
一般財団法人	}	健康保険組合	ケンホ
公益財団法人		国民健康保険組合	コクホ
一般社団法人	}	国民健康保険団体連合会	コクホレン
公益社団法人		社会保険診療報酬支払基金	シヤホ
宗教法人	シユウ	厚生年金基金	コウネン
学校法人	カク	従業員組合	シユウクミ
社会福祉法人	フク	労働組合	ロウクミ
更生保護法人	ホゴ	生活協同組合	セイキョウ
相互会社	ソ	食糧販売協同組合	シヨクハンキョウ
特定非営利活動法人	トクヒ	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
独立行政法人	トク	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
地方独立行政法人	チトク	経済農業協同組合連合会	ケイザイレン
中期目標管理法	モク	共済農業協同組合連合会	キヨウサイレン
国立研究開発法人	ケン	漁業協同組合	キョキョウ
行政執行法人	シツ	漁業協同組合連合会	キョレン
弁護士法人	ベン	公共職業安定所	シヨクアン
有限責任中間法人	}	社会福祉協議会	シヤキョウ
無限責任中間法人		チュウ	特別養護老人ホーム
行政書士法人	キョ	有限責任事業組合	ユウクミ
司法書士法人	シホウ		
税理士法人	ゼイ		
国立大学法人	}		
公立大学法人		ダイ	
農事組合法人	ノウ		
管理組合法人	カンリ		
社会保険労務士法人	ロウム		